

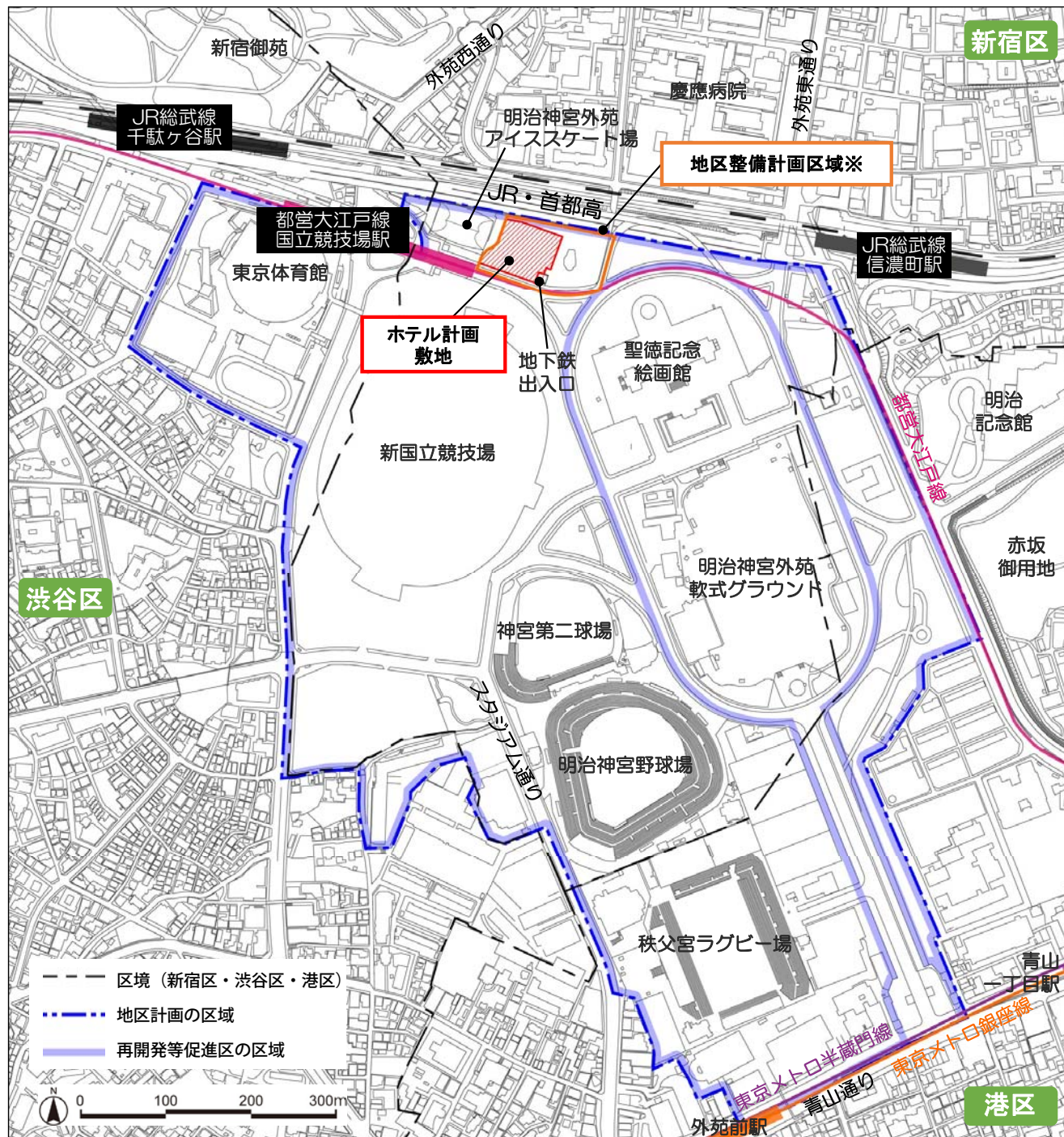
(仮称) 神宮外苑ホテル計画

# 1. 敷地概要

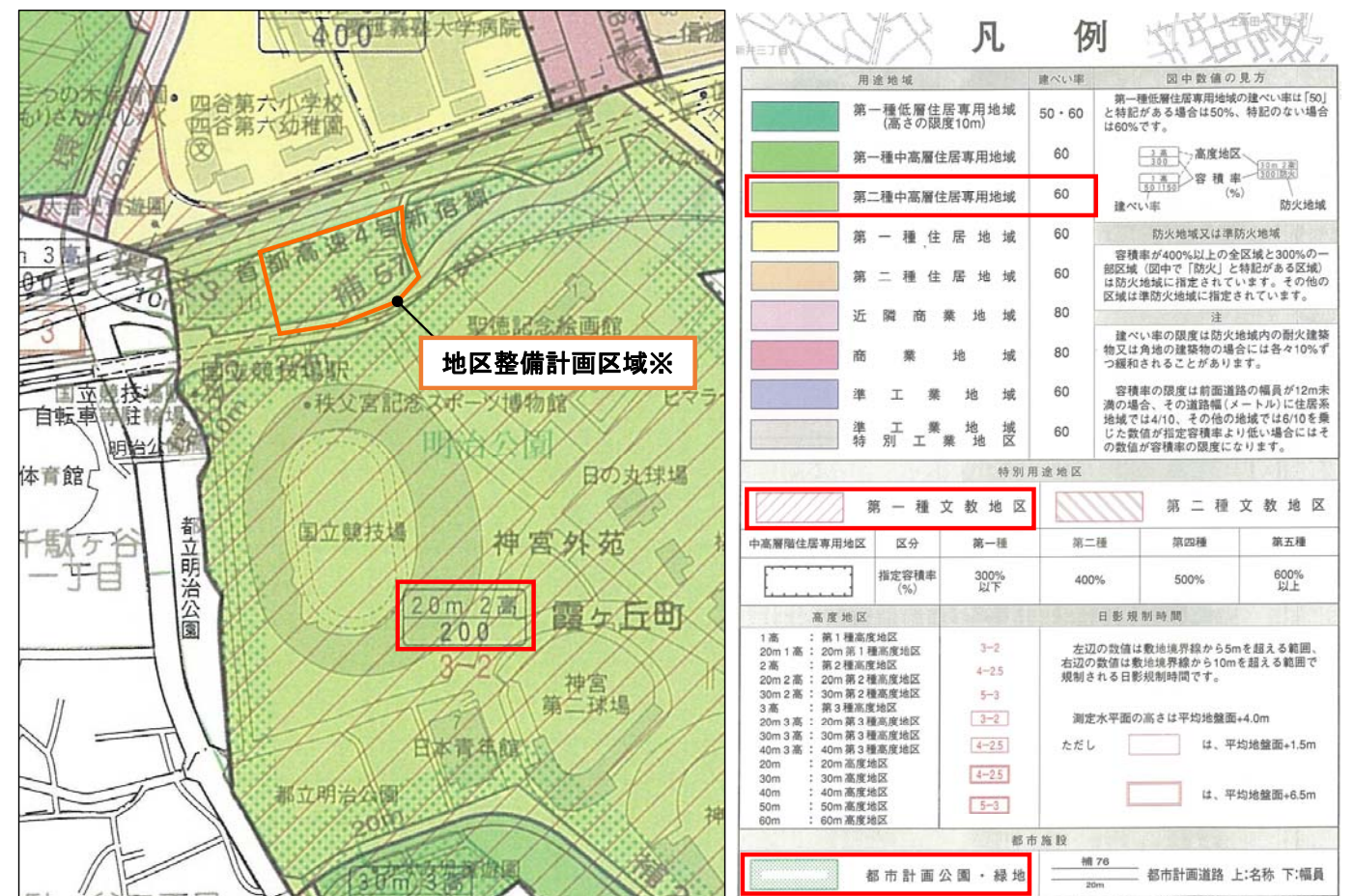
## 計画概要

名称	(仮称) 神宮外苑ホテル計画
所在地	東京都新宿区霞ヶ丘町5-1、5-13~16
地域・地区	第二種中高層住居専用地域、準防火地域、 明治神宮内外苑風致地区（第二種風致地区） *再開発等促進区を前提
地区計画	神宮外苑地区地区計画
敷地面積	約4,330㎡（ホテル計画敷地）、約8,470㎡（地区整備計画区域）
容積率	基準容積率：200% ⇒計画容積率：約350%（予定）

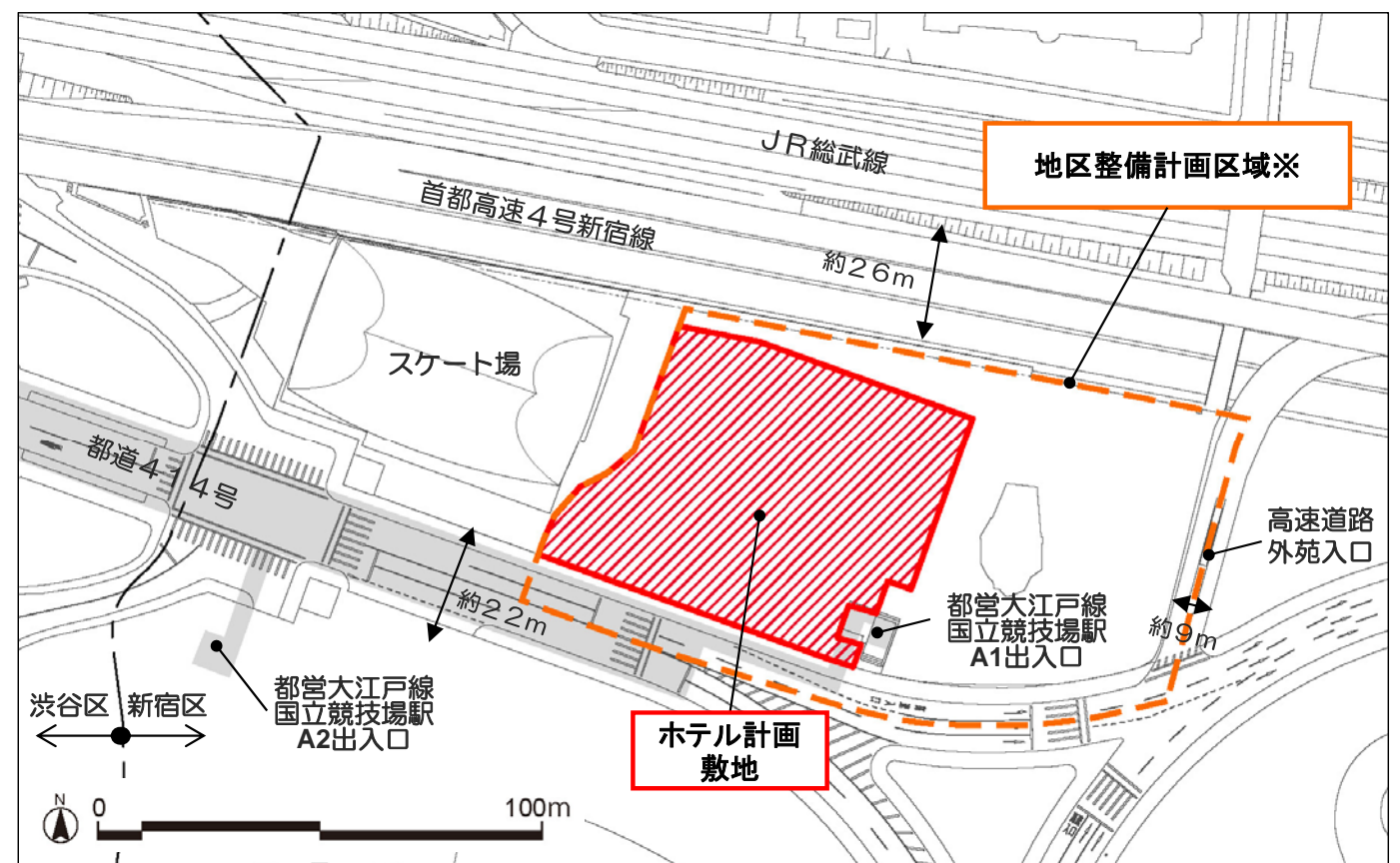
## 位置図



## 新宿区都市計画図

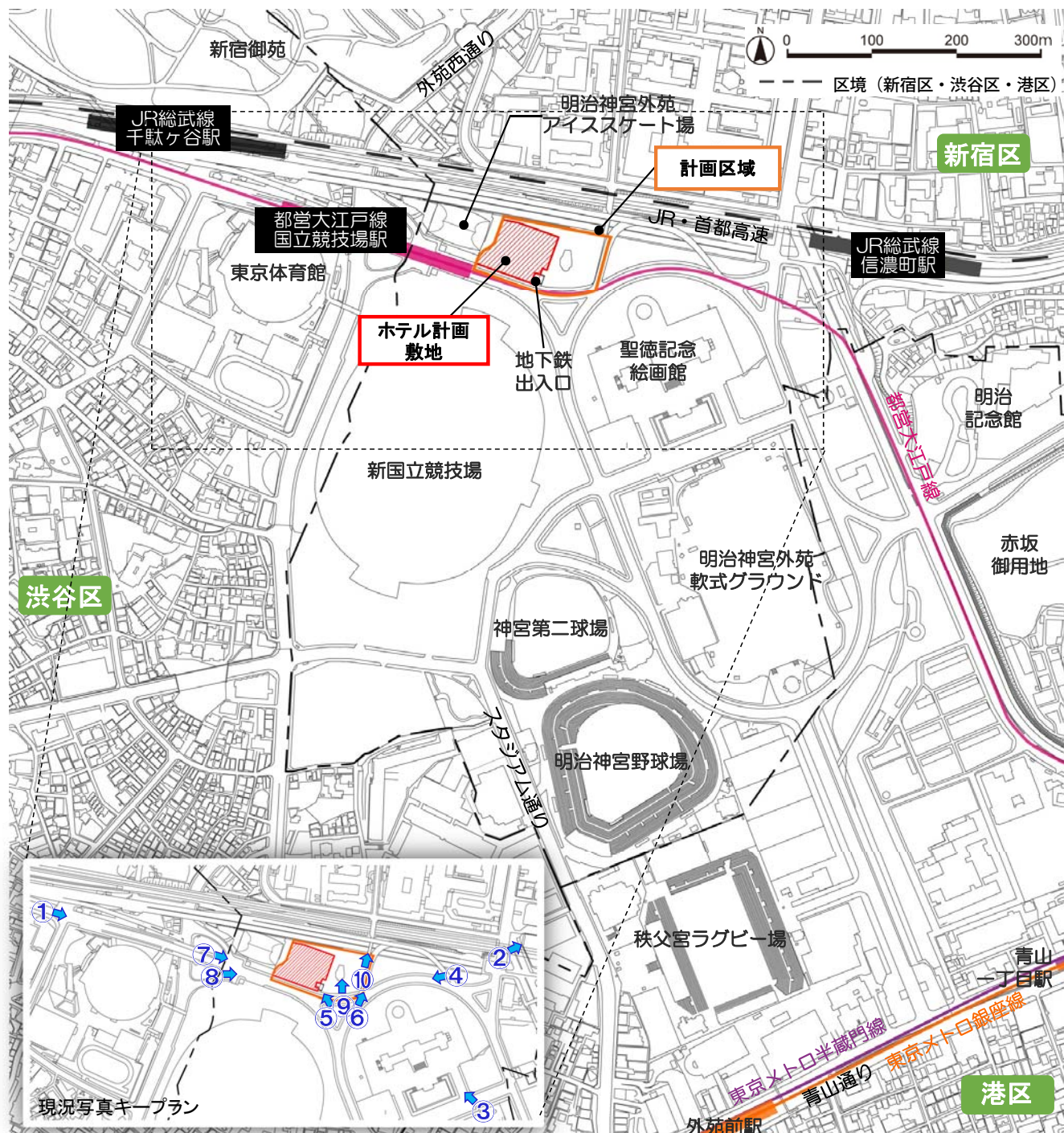


## 敷地配置図



※地区整備計画区域は本資料においては「計画区域」と称す

## 2. 周辺現況図



①千駄ヶ谷駅前



②信濃町駅



③聖徳記念絵画館前



④聖徳記念絵画館北側 (都道414)



⑤大江戸線国立競技場駅 (A1出入口)



⑥首都高速道路入口



⑦明治神宮外苑入口 (都道414)



⑧アイススケート場・フットサル場



⑨水明亭



⑩慶応病院方面への通路

### 3. 上位計画

**東京都 東京都長期ビジョン（平成26年12月策定）**

◇世界をリードするグローバル都市の実現  
 <2020年大会のレガシーを生かした質の高い都市空間の形成>

- 神宮外苑地区では、新国立競技場の建設を契機として大規模スポーツ施設の更新を促進し、これらの施設を中心に多様な機能が集積するスポーツ・文化の拠点形成を推進
- いちょう並木から聖徳記念絵画館を望む歴史的景観の維持・保全を図り、関係地権者と連携して緑あふれる安全で快適な歩行空間を整備

<多様な地域の将来像と都市機能の充実・強化>  
 神宮外苑：新国立競技場の建設を契機として、多様な機能が集積するスポーツ・文化の拠点を形成

- 整備計画等を定め、新たな魅力・にぎわい・風格を兼ね備えたスポーツクラスターを実現

◇豊かな環境や充実したインフラを次世代に引き継ぐ都市の実現  
 水と緑のネットワークの充実

- 公園や道路に現存する樹林・樹木等の維持や管理、再生を進め、快適性・安全性を高める

**東京都 東京都景観計画（平成19年4月施行／平成28年8月改定）**

◇良好な景観の形成に関する方針  
 風格のある都心、個性豊かな副都心

- 神宮外苑絵画館等の首都東京の象徴性を意図して計画された建築物について、前景及び後背地となる軸線上の眺望を守り、風格のある景観を保全

【文化財庭園等景観形成特別地区】

- 新宿御苑等、国際的な観光資源としてふさわしい庭園からの眺望景観を保全し、歴史的・文化的景観を次世代に継承

◇国会議事堂、迎賓館、絵画館、東京駅丸の内駅舎の眺望の保全に関する景観誘導

- 当地区が対象となる保全対象建築物：明治神宮聖徳記念絵画館
- 首都東京の象徴性を意図して造られた建築物を中心とした眺望が保全されるよう、当該建築物の周辺で計画される建築物等の規模、色彩等を適切に誘導
- 基準適用建築物の各部分の高さを、保全対象建築物に係る眺望地点と基壇部部分を結ぶ線を基準に制限

◇文化財庭園等の眺望の保全に関する景観誘導

- 当地区が対象となる保全対象庭園：新宿御苑等
- 景観形成基準は、大規模建築物等の建築に係る景観形成基準及び文化財庭園等景観形成特別地区の景観形成基準とする

聖徳記念絵画館に係る景観誘導区域

新宿御苑に係る景観誘導区域

**東京都 東京の都市づくりビジョン（平成13年策定／平成21年7月改定）**

◇特色ある地域の将来像  
 西部エリア／代々木公園・神宮外苑

- 新宿御苑、神宮外苑など、都心の大規模公園などを生かした緑の軸が形成され、絵画館などを中心とする風格のある景観を背景に、ジョギング、サイクリング、散策、周辺のカフェや店舗など、楽しみのある、緑豊かで快適な空間を形成

**東京都 2020年の東京（平成23年12月策定）**

◇四大スポーツクラスタープロジェクト

- 大規模スポーツ施設を中心としたさまざまな施設の集積（スポーツクラスター）により、集客力の高い、賑わいあふれるエリアが生まれ、活力あるまちを再生

◇目標：水と緑の回廊で包まれた、美しいまち東京を復活させる  
 <2020年の東京の姿>

- 都市の記憶を次世代に継承する美しい都市景観が創出され、成熟した都市東京の価値が向上

**東京都 都市計画神宮外苑地区地区計画（平成25年6月決定／平成28年10月変更）**

◇目標

- 神宮外苑いちょう並木から明治神宮聖徳記念絵画館を正面に臨む首都東京の象徴となる景観を保全
- 神宮外苑地区一帯において、緑豊かな風格ある景観の創出、バリアフリー化された歩行者空間を整備
- 国内外から人々が集う、東京の顔となる地区にふさわしい風格と活力が共存する魅力あるまちを目指す

◇土地利用の方針  
 大規模スポーツ施設、公園、既存施設等の再編・整備を図る地区（A地区）

- スポーツ・文化・交流の魅力に富んだ世界に誇れるわが国のスポーツの拠点（スポーツクラスター）の形成

◇道路及び歩行者ネットワーク等の整備等の方針

- 地区に隣接する各駅から地区内のスポーツ施設等への歩行者流動を円滑化
- 地区内の公園及びオープンスペース、賑わい動線を整備
- 公園やオープンスペースをつなぐ民地内の歩行者通路を確保する等、安全で快適な歩行者ネットワークを整備

◇緑化等の方針

- 地区資源を活用した風格ある緑の環境づくりを推進
- 歩行者ネットワークと調和した緑化を積極的に推進し、魅力的な都市環境の創出・強化を図る

◇再開発等促進区：A地区

- 新たな時代のスポーツへのニーズに対応した施設の整備を図る
- 神宮外苑の緑豊かな風格ある都市景観と調和しながら、地区に魅力的なにぎわいを与える商業、文化、交流、業務等機能の集積を図る

### 3. 上位計画

#### 新宿区 新宿区景観形成ガイドライン（平成21年3月策定／平成27年3月改定）

- 【1. 四谷地区】
- ◇神宮外苑・南元町エリア  
 景観形成の目標：神宮外苑の広大な眺めと豊かなみどりに囲まれたまちなみへ
- 聖徳記念絵画館を中心とする広場からの広大な眺めを、将来に渡って継承
- 具体的な方策
- 広場を取り囲む既存樹木を保全
  - 広場からの眺めに配慮した色彩・形態意匠とする
- ◇新宿御苑・内藤町エリア  
 景観形成の目標：新宿御苑を中心としたみどりに囲まれたまちなみへ
- 新宿御苑内からの眺望景観を保全
- 具体的な方策
- 新宿御苑内の眺望点や各視点場からの眺めに配慮した色彩・形態意匠とする



#### 新宿区 新宿区景観まちづくり計画（平成21年4月施行／平成28年4月改定）

- ◇良好な景観の形成に関する方針
- 『聖徳記念絵画館や迎賓館および新宿御苑からの眺望の保全』
- 首都東京の象徴性を意図して造られた聖徳記念絵画館の眺望景観を保全
  - 都心における貴重な憩いとやすらぎのオープンスペースを提供している新宿御苑内からの眺望を保全
- 『新宿御苑みどりと眺望保全地区』
- 新宿御苑の内部から見える建築物等の配置や色彩などを適切に誘導し、新宿御苑の持つ歴史的・文化的景観を保全・継承。



#### 新宿区 新宿区都市マスタープラン（平成19年12月策定）

- ◇基本目標
- 景観や地域の個性や魅力を十分生かし、自然やまちの文化・歴史を身近に感じ、歩くことが楽しくなる、美しいまちを目指す
  - 歴史的風土や自然環境と調和した景観を守り、はぐくむまちづくりを進める
- ◇将来の都市像
- 暮らしと賑わいが調和し、環境に配慮したみどり豊かな快適で潤いあるまち
- 「七つの都市の森」
- 明治神宮外苑周辺、新宿御苑周辺他のまとまったみどりを、新宿区の「七つの都市の森」と位置づけ、みどりの保全と拡充を進める
- ◇地域別まちづくり方針
- 四谷地域まちづくり方針
- 新宿御苑や明治神宮外苑のみどり、外堀の水とみどりを新宿区の外周を囲む「水とみどりの環」と位置づけ、水に親しめる空間や自然を感じる事が出来る連続した水とみどりの骨格を形成



#### 新宿区 新宿区景観まちづくりガイドブック（平成22年2月発行）

01. 四谷地区
- ◇神宮外苑・南元町エリア
- 広大な敷地に競技施設が並ぶ神宮外苑
- ◇景観を読み解く
1. 絵画館への広大な眺望景観
  - 聖徳記念絵画館の丸いドームをアイストップとし、そこに視線を誘導するように仕組まれた4列の銀杏並木が、ピスタをつくり出す
  2. 絵画館からの見晴らし
  - 敷地内に建てられた様々な施設により、当初の広々とした景観が失われつつある
  3. 外濠からつながるみどり
  - 外濠と迎賓からつながるみどりが、神宮外苑にも伸びてきている。赤坂御用地へつながり、都心とは思えないほどボリュームのあるみどりとなっている。
- ◇景観を守り育てる
1. 聖徳記念絵画館の広大な眺めを保全する
  - 広場を取り囲む既存樹木を保全する
  - 周囲の建物は、広場からの眺めに配慮した形態意匠とする
  - 色彩はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に彩度の高いものは避ける
  - 聖徳記念絵画館の眺めを阻害する場所に、屋上広告物は原則設置しない。やむを得ず設置する場合は、建築物と一体的に計画し、周囲からの見え方に配慮する。



## 4. 計画概要

### 計画概要

建築面積	約1,730㎡
延べ面積	約15,800㎡
駐車台数	50台 (うち 荷捌き:5台 車いす対応用:1台 含む)
規模	地上13階 / 平均GL+約50m
主要用途	ホテル (約350~400室)

### 計画コンセプト

#### 1. 周辺スポーツ施設と連携する交流機能整備

スポーツクラスターとして位置づけられる神宮外苑エリアにおいて、スポーツ施設群と連携を図る交流機能としての宿泊施設を整備

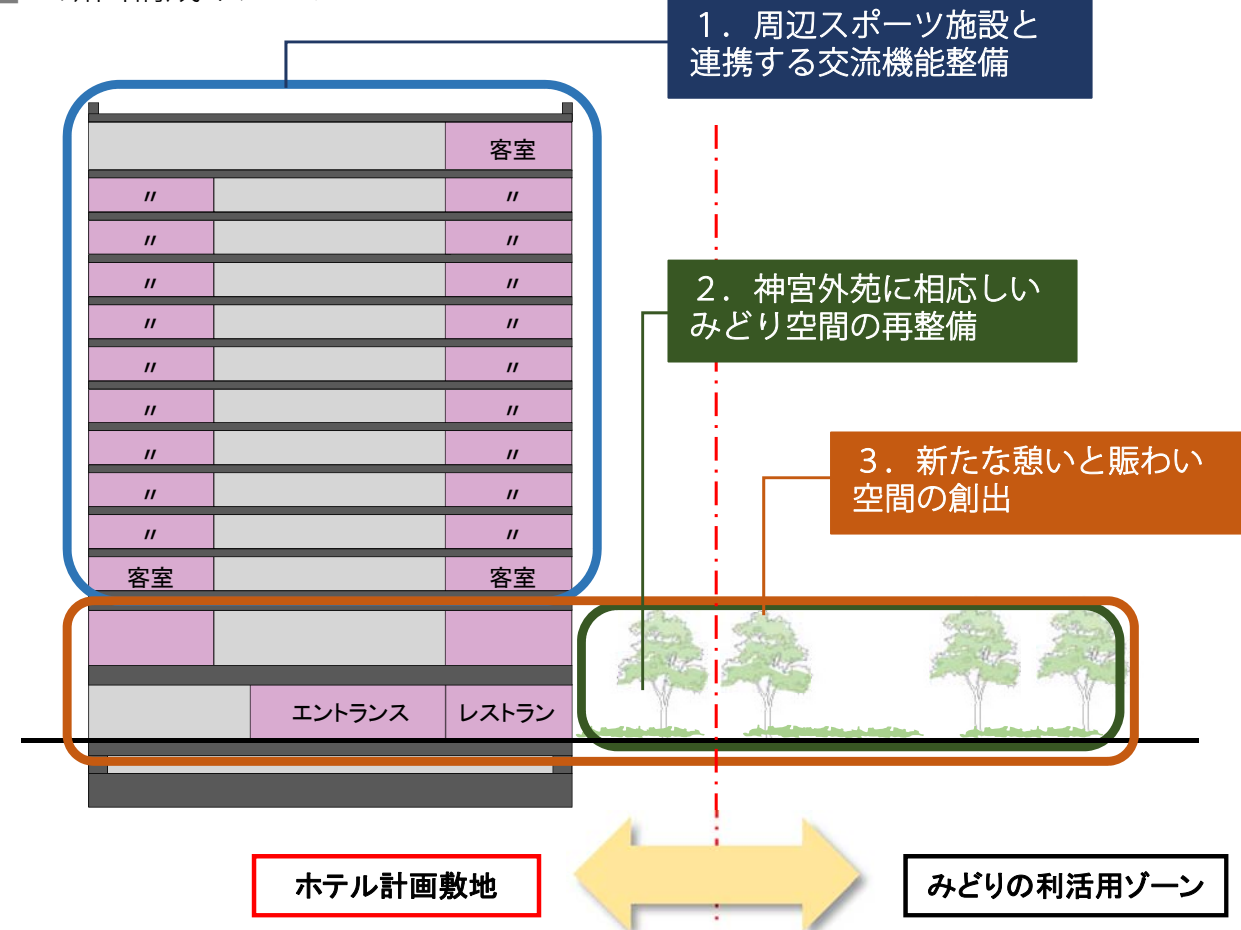
#### 2. 神宮外苑に相応しいみどり空間の再整備

みどり空間がつくる象徴的な神宮外苑エリアで、新たなオープンスペース空間を創出し、周囲のみどりと連携する足元の緑化空間を確保

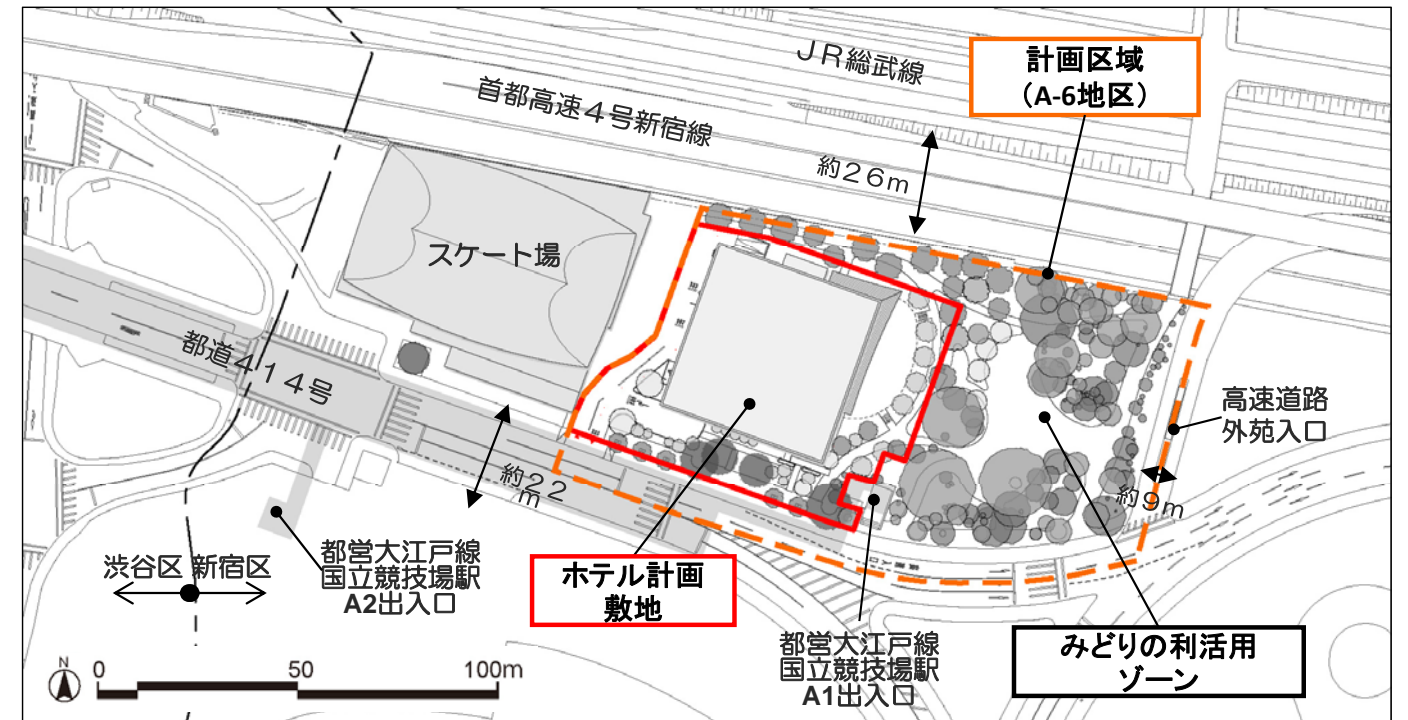
#### 3. 新たな憩いと賑わい空間の創出

建物足元部分には飲食施設などを導入すると共に、計画区域内東側で再整備予定の「みどりの利活用ゾーン」と連携を図り、神宮外苑を訪れる人が憩える賑わい空間を創出

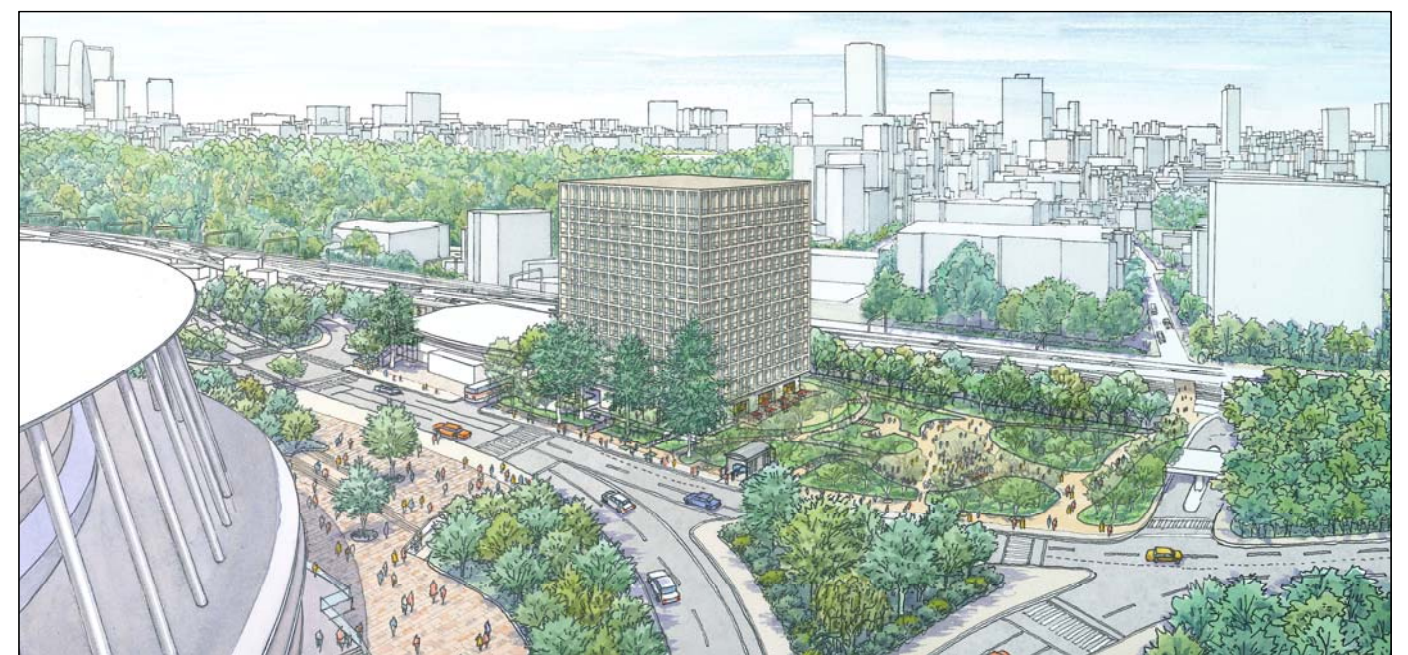
### 断面構成イメージ



### 配置図



### イメージパース

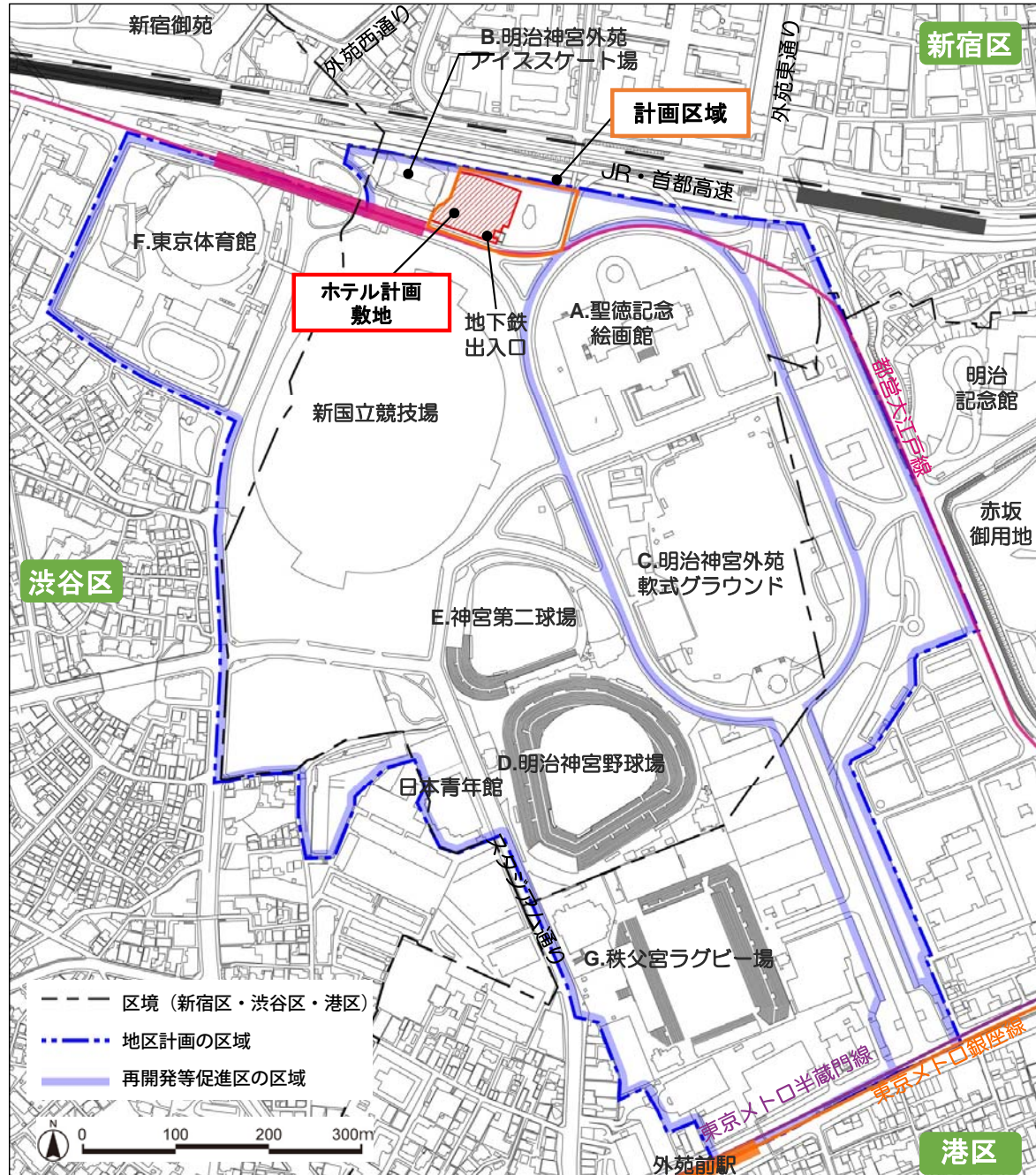


### スケジュール

年度	2016	2017	2018	2019
都市計画	案件提出	告示		
設計		許認可・確認申請		
工事			着工	竣工

特性1：大規模スポーツ施設が集積する神宮外苑

- 外苑創建時より、聖徳記念絵画館を中心に、体力向上や心身鍛錬の場として陸上競技場（国立競技場）・神宮球場・相撲場などのスポーツ施設が旧青山練兵場跡に造成されてきた。
- 前回の東京オリンピック（S39年）の際に利用された国立競技場は、2020年大会に向けて新国立競技場として再整備が行われているところである。
- 神宮外苑は日本を代表するスポーツ施設が多く集積し、国民や競技者がスポーツに親しむ一大拠点を形成している。



A. 聖徳記念絵画館



B. 明治神宮外苑 アイススケート場



C. 明治神宮外苑 軟式グラウンド



D. 明治神宮野球場



E. 神宮第二球場



F. 東京体育館

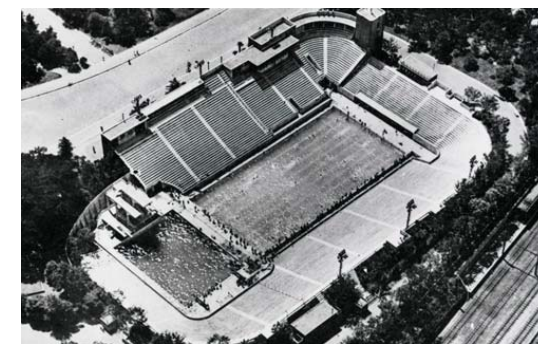


G. 秩父宮ラグビー場

計画地の沿革

- 計画区域は神宮外苑竣工から5年後（昭和6年）に水泳場が整備され、数多くの水泳競技会の会場として使用されてきた
- その後計画区域西側にスケート場が建築された
- 施設老朽化のため水泳場は閉鎖・解体され、冬季のみフットサルコートとして営業が始まった
- 2003年に常設のフットサル競技場「千駄ヶ谷コート」として装い新たにオープンした

- 1926：明治神宮外苑竣工
- 1931：水泳場竣工
- 1963：スケート場竣工（水泳場増築）
- 1964：東京オリンピック
- 1997：フットサルコート竣工（冬季のみ）
- 2003：常設フットサル競技場営業開始



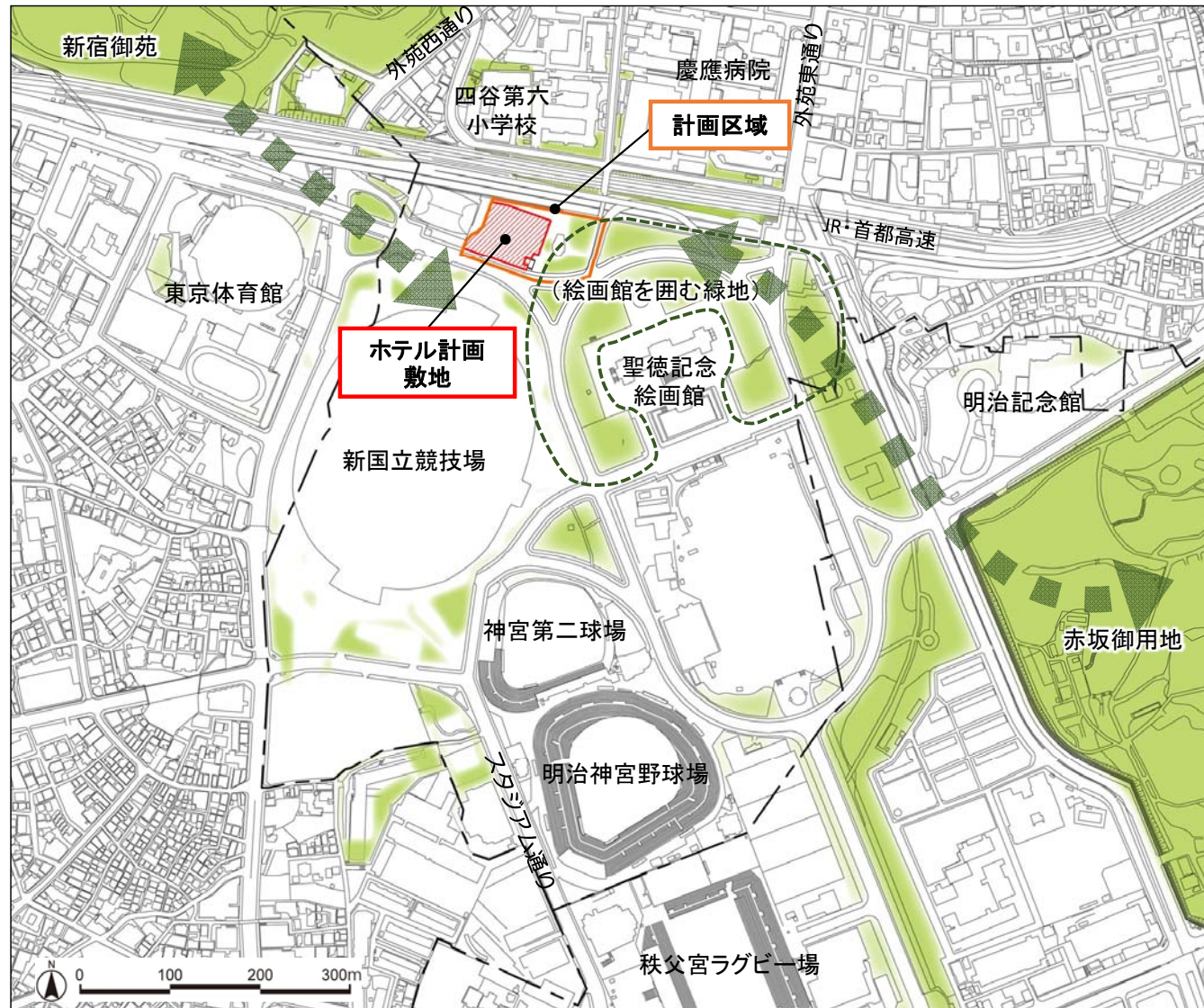
水泳場（竣工当初）



フットサル千駄ヶ谷コート

▲ 特性2：周辺大規模緑地とのみどりの連続と、エリア内みどりのネットワーク形成

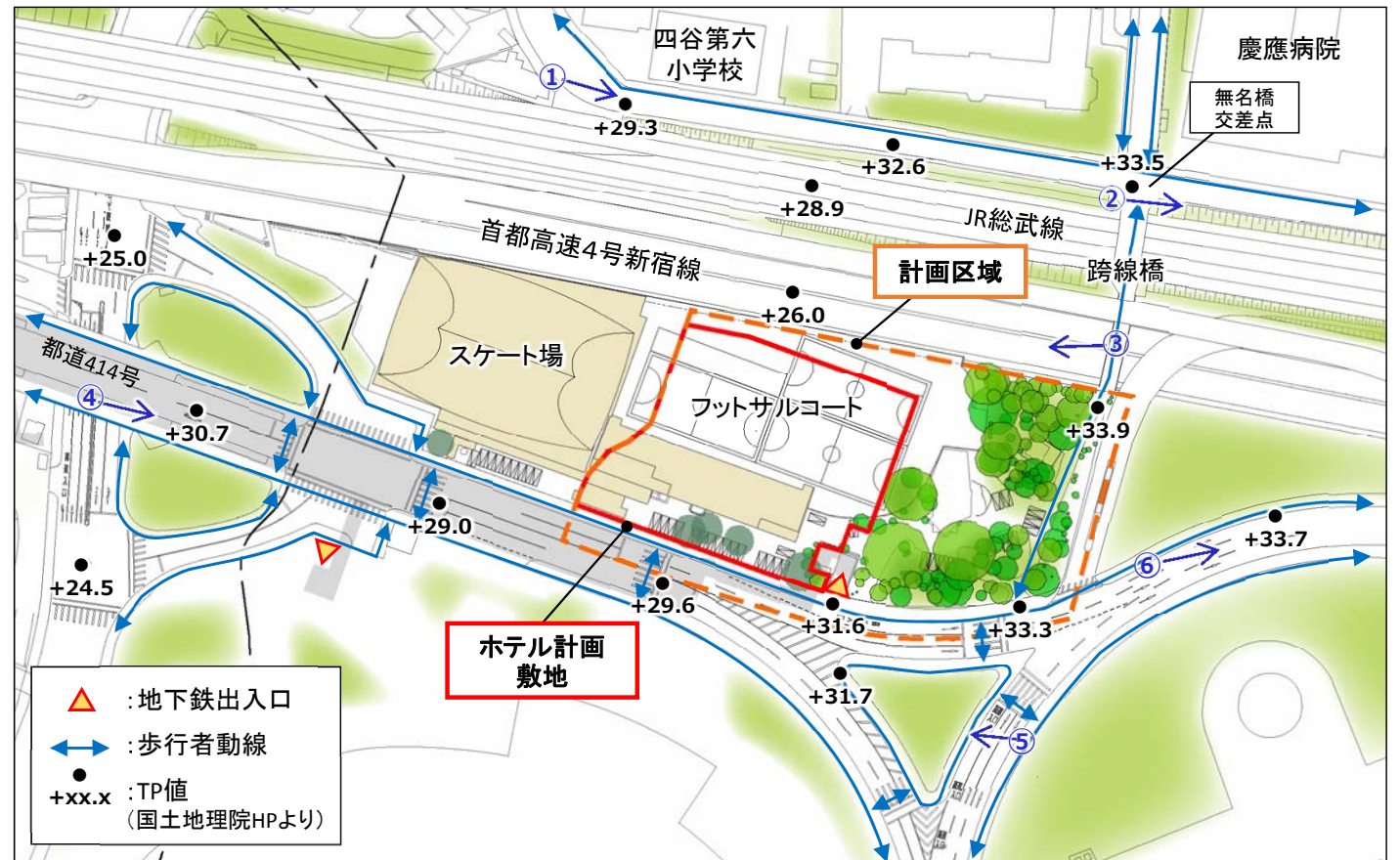
- 神宮外苑周辺には、北西側に都民の憩いの場である新宿御苑、南東側に赤坂御用地といった大規模緑地が広がっている。神宮外苑は、このまとまりあるみどりをつなぐ役割を担っている。
- 計画区域周辺については、聖徳記念絵画館を囲むように緑量あるみどりが確保されており、神宮外苑の外周部を囲むみどり空間の一部を形成している。
- ホテル計画敷地内は、現在フットサルコートとして利用されており、周辺と比べると緑量の少ない空間となっている。一方、計画区域内東側は緑量あるみどり空間となっている。



◇ 歩行者レベルでのみどりの連続 (現況)



① 四谷第六小学校前 ② 跨線橋入口の無名橋交差点 ③ 跨線橋より



◇ 計画地周辺のまとまりあるみどり



絵画館北側のみどり(国土地理院空中写真より)



神宮外苑いちょう並木



赤坂御用地



新宿御苑



④ 都道414号沿い



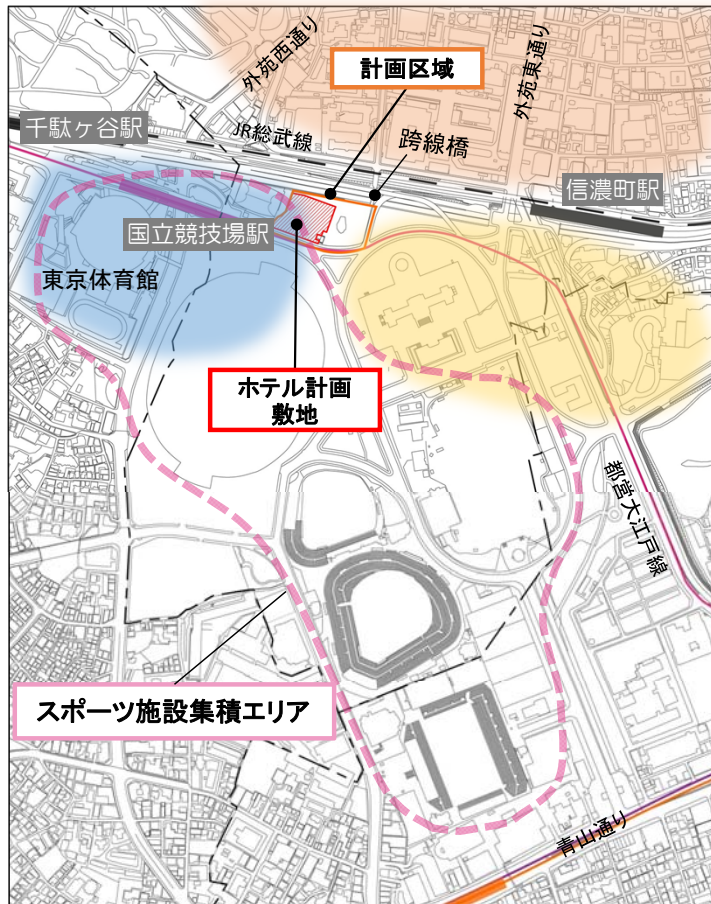
⑤ 道路内三角地帯



⑥ 都道414号沿い(絵画館を囲むみどり)



▲ 特性3：ゾーンごとに異なる特色ある景観



北側ゾーン① | 線路と高速道路で分断されるエリアをつなぐネットワーク

- 神宮外苑と北側エリアの間にはJR中央線・首都高速道路が谷状の地形を走っており、まちが分断されている。
- 計画区域から繋がる跨線橋は、外苑エリアと周辺エリアを繋ぐ役割を担っている。



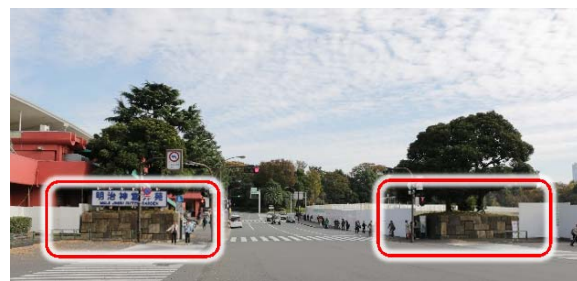
北側ゾーン② | 幹線道路沿いの賑わい空間と落ち着きある住居系市街地

- 外苑東通り沿道は文化系の施設や飲食等の施設により賑わいある沿道空間となっており、外苑西通り沿道は中層程度の集合住宅が目立ち、一部に業務系用途や足元商業が見られる。
- 一方、幹線道路から一本奥に入ると、低層の住居系用途で構成されるエリアが広がり、落ち着きある空間となっている。

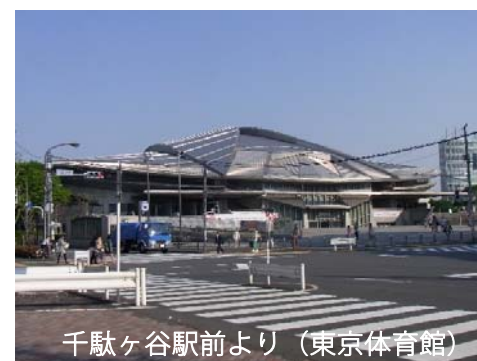


西（千駄ヶ谷）側ゾーン | スポーツ空間としての神宮外苑が感じられるゲート空間

- 千駄ヶ谷駅から当該計画地への歩行者動線は都道414号経由となるが、当該道路は歴史的には神宮内苑と外苑を結ぶ連絡路であった。
- 現在この通り沿いには東京体育館及び新国立競技場が整備され、スポーツクラスターとして位置付けられる、神宮外苑のゲート空間としての性格をもつ。
- 千駄ヶ谷駅から計画地方面へ向かうと、最初に東京体育館が見える。東京体育館は外部空間も一般利用が見られ、日常の運動空間として広く活用されている。



連絡道路造営時より保存されている石垣／内外苑連絡路の外苑入口を示す空間となっている



東（信濃町）側ゾーン | 神宮外苑の文化的要素が感じられるゲート空間

- 神宮外苑の東側は、聖徳記念絵画館をはじめ、明治記念館や大学のキャンパスがあり文化的な要素が強いエリアとなっている。
- 計画地東側の都道414号では、両側に樹高が高く緑量の多いみどり空間が広がっている。



## 6. 景観形成に関する方針

### ■上位計画における位置づけ■

#### 東京都長期ビジョン（H26年12月策定）

- ・歴史的、文化的な資源と新たに創出された魅力ある景観が共生し、美しく風格のある景観が形成
- ・水と緑に囲まれ、環境と調和した都市の実現

#### 2020年の東京（H23年12月策定）

- ・スポーツ施設の集積であるスポーツクラスターにおいて多くの国際大会等が連続して開催され、活力あるまちを創出

#### 東京の都市づくりビジョン（H13策定／H21年7月改定）

- ・都心の大規模公園などを活かした緑の軸が形成され、絵画館などを中心とする風格のある景観を背景に、ジョギング、サイクリング、散策、周辺のカフェや店舗など、楽しみのある緑豊かで快適な空間を形成

#### 東京都景観計画（H19年4月施行／28年8月改定）

- ・絵画館などの前景及び後背地となる軸線状の眺望を守り、風格のある景観を保全
- ・国際的な観光資源としてふさわしい、庭園からの眺望景観を保全し、歴史的・文化的景観を次世代に継承する（庭園：新宿御苑）

#### 新宿区都市マスタープラン（H19年12月策定）

- ・絵画館等の歴史的建造物を中心とした眺望景観や新宿御苑からの良好な眺望景観の保全
- ・積極的にみどりを創出し、これらを連続させるみどりのネットワーク形成を図る

#### 新宿区景観形成ガイドライン（H21年3月策定／H27年3月改定）

- ・まちの記憶をいかした「美しい新宿」をつくる
- ・聖徳記念絵画館を中心とする広場からの広大な眺めを、将来に渡って継承する

#### 新宿区景観まちづくり計画（H21年4月施行／H28年4月改定）

- ・首都東京の象徴性を意図して造られた聖徳記念絵画館の眺望景観を保全
- ・都心における貴重な憩いとやすらぎのオープンスペースを提供している新宿御苑内からの眺望を保全

#### 神宮外苑地区地区計画（H25年6月決定／H28年10月変更）

- ・首都東京の顔にふさわしい緑豊かで風格と活力を兼ね備えた魅力的なまち
- ・誰もが利用しやすく、安全・安心で快適なまち
- ・歩行者滞留空間と公園とが一体となった開放感のある良好な環境の形成
- ・歩行者ネットワークと調和した緑化を積極的に推進し、魅力的な都市環境の創出・強化を図る

### ■キーワードの整理■

#### 遠景

- 美しく風格のある景観形成
- 歴史的・文化的景観を次世代に継承
- 良好な眺望景観の保全

#### 中景

- 楽しみのある緑豊かで快適な空間
- みどりのネットワーク形成
- 安全・安心で快適なまち

#### 近景

- まちの記憶をいかす
- 積極的なみどりの創出
- 開放感のある良好な環境の形成

### ■当地区の景観特性■

1. JRおよび都営地下鉄、計3駅2線による交通利便性の高い立地である
2. 日本を代表する様々な規模や種目のスポーツ施設が立地し、国民や競技者がスポーツに親しむ一大拠点を形成している
3. 都心部において、明治神宮外苑をはじめとして、新宿御苑や赤坂御用地などの緑豊かな自然環境が集積している
4. 新宿御苑、神宮外苑いちょう並木からの眺望の保全が誘導されている

#### 遠景

#### 神宮外苑の森に調和する都市景観の形成

**配置・ボリューム** 方針①：神宮外苑のみどりや周辺からの眺望に相応しいボリューム配置計画

**外装計画** 方針②：彫の深いデザインにより、風格ある外苑地区に調和する景観形成

#### 中景

#### 周辺環境に配慮した交流とみどりの空間整備

**歩行者ネットワーク** 方針①：駅や周辺施設からの安全で快適な歩行者ネットワークの整備

**みどり** 方針②：絵画館を囲む緑地と連続するみどり空間の配置

#### 近景

#### みどりの利活用を促進する憩い空間の創出

**オープンスペース** 方針①：計画区域内東側と一体的な憩いの広場整備

# 6. 景観形成に関する方針

## 遠景 | 神宮外苑の森に調和する都市景観の形成

配置・ボリューム

### 方針①：神宮外苑のみどりや周辺からの眺望に相応しいボリューム配置計画

#### デザイン方針

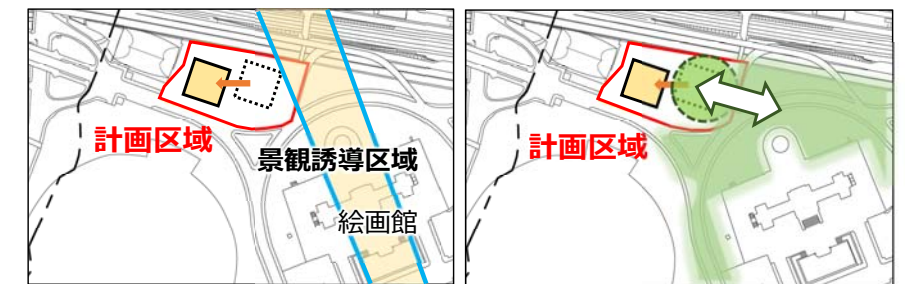
- 絵画館を通じた眺望に配慮した見付幅が過大とならない計画
- 新宿御苑からの眺望や周辺環境に配慮したボリューム配置
- 全方向からの視認性を意識した外観上裏を作らない計画

#### ボリューム

- 見付面への配慮
  - ・ 正方形に近い平面形状
  - ⇒ 見る方向による見付幅の偏りを軽減
  - ・ 建物全周の客室配置
  - ⇒ 全方向からの見えに対して裏を作らない
- 高さへの配慮
  - ・ 新宿御苑の眺望点
  - ⇒ 指定ポイントより確認できる既存高層建物を超えないボリューム
  - ・ フロア毎の効率的な客室配置
  - ⇒ フロア数を減らし建物高さを抑える

#### 建物配置

- 絵画館の眺望への配慮
  - ・ 建物配置を西側へ寄せることで、絵画館を通じた景観誘導区域から極力離す。
  - ・ 絵画館周囲のまとまりあるみどり空間と計画区域のみどりが連続する配置とする



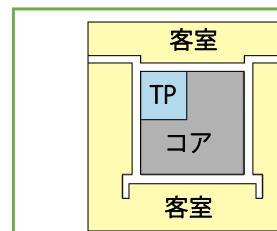
#### 上位計画

【東京都景観計画（H19.4施行、H28.8改定）】

#### <聖徳記念絵画館>



#### <新宿御苑>



- ・ 建蔽率の制限範囲内において、フロアに効率よく客室を配置できるよう、センターコア型の口の字プランを採用
- ・ 風格ある周辺景観に配慮するため、コア部分にタワーパーキング（TP）を収め、屋上には外壁と一体的にデザインされた目隠し壁を設置することで、機械設備等を隠す

【新宿区景観形成ガイドライン（H21.3策定、H27.3改定）】

#### <聖徳記念絵画館>



#### <新宿御苑>



#### 景観シミュレーション



新宿御苑内より



聖徳記念絵画館より

※現時点での計画であり、今後関係者との協議及び検討の進捗により変更となる可能性があります。

## 6. 景観形成に関する方針

### 遠景 | 神宮外苑の森に調和する都市景観の形成

外装計画

**方針②**：彫の深いデザインにより、風格ある外苑地区に調和する景観形成

#### デザイン方針

- 神宮外苑の象徴的なみどり・建物の背景として相応しい佇まいを創出
- みどり景観が連続する当該エリアとして周囲になじむ色彩の選定
- 全方向からの見え方を意識した落ち着いた景観を創出

#### 周辺建物・景観

聖徳記念絵画館



神宮外苑での象徴的な外観

京都造形大外苑キャンパス



石調・アースカラーの外装材

計画地南側道路（都道414号）



神宮外苑の大規模緑地空間

#### ファサード・素材・色彩による調和

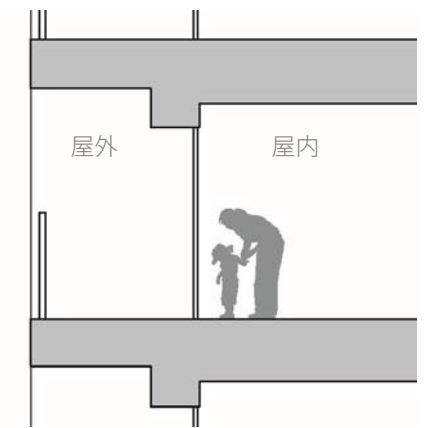
- ・みどりに包まれた神宮外苑内での建物として全方向からの見え方を意識し落ち着いた景観を創出する。
- ・格子状の彫の深いファサードにより陰影を創出し、風格ある外苑地区を形成する既存建物や奥行のあるみどり景観との調和を図る。
- ・彫の深さを表現するシンプルな格子状ファサードによって軽やかさを創出し、開けた眺望景観に配慮しながら絵画館を引き立てる。
- ・外装は周辺建物との調和やみどりに馴染む色彩・素材を用い、アースカラーを基調とした、風合いを感じられる計画とする。



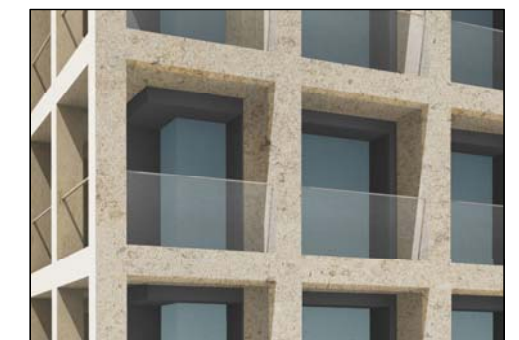
※新国立競技場敷地内については、「新緑の杜」として高木、垂高木、低木からなる立体的な樹木構成とし、建物に対する緩衝帯となる周囲と連続する深い緑地とすることが、第60回新宿区景観まちづくり審議会資料にて報告されている。



(参考) ファサード断面イメージ



(参考) 素材等の検討



外壁：着色コンクリート、プラスト仕上げ  
手摺：ガラス手摺（合わせガラス）  
建具：アルミサッシュ（フロートガラス）

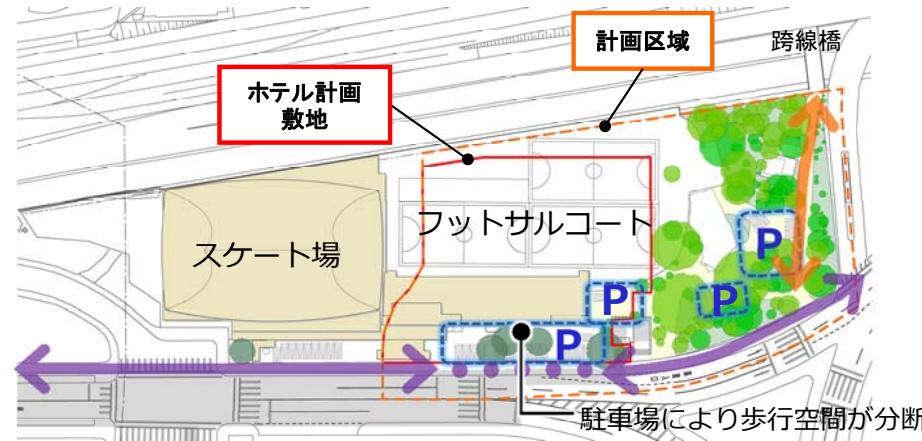
## 6. 景観形成に関する方針

### 中景 | 周辺環境に配慮した交流とみどりの空間整備

#### 歩行者ネットワーク 方針①：駅や周辺施設からの安全で快適な歩行者ネットワークの整備

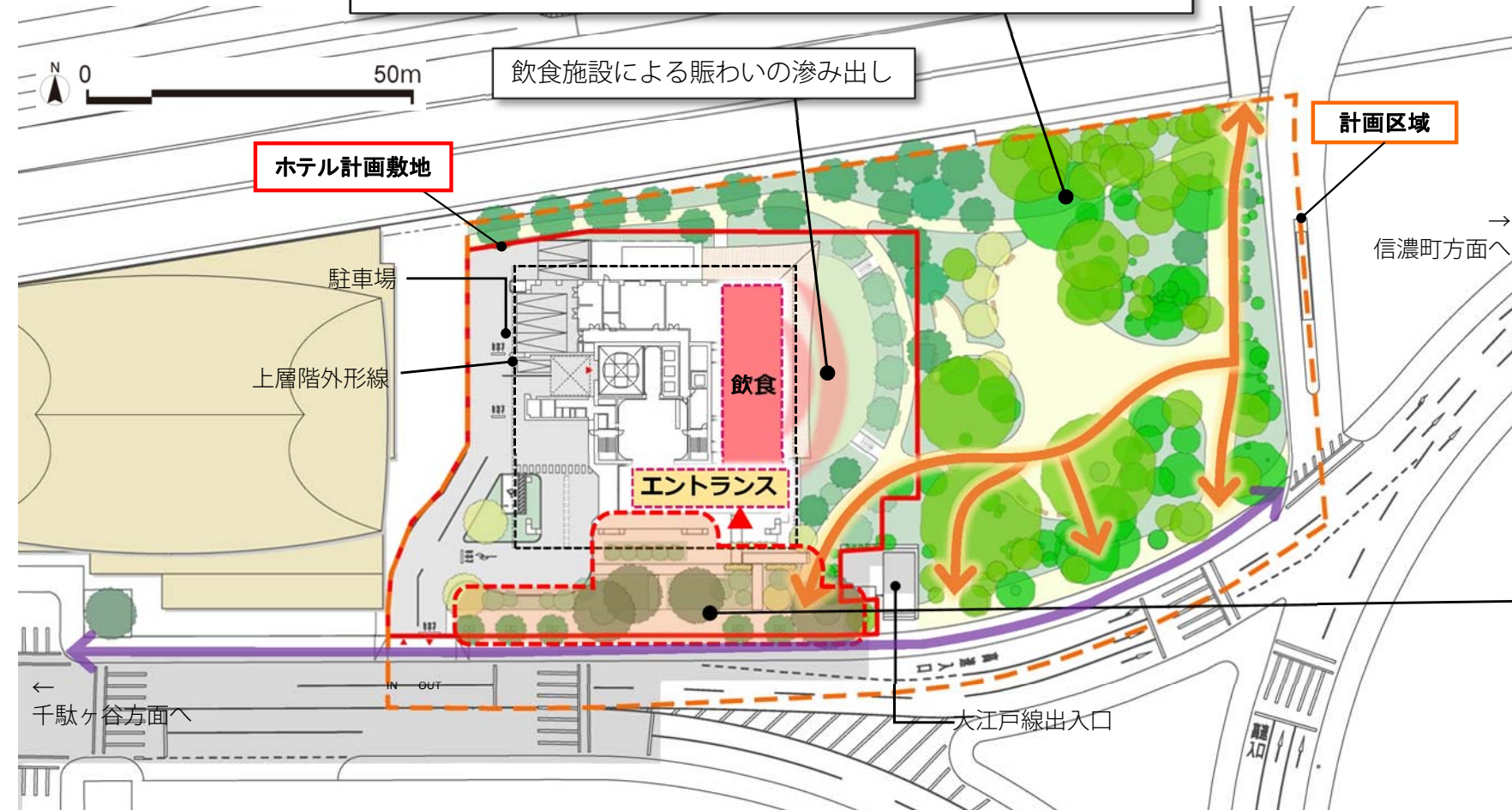
##### 現況

- 千駄ヶ谷駅・信濃町駅とのネットワーク  
 ○通りに面して駐車場が配置され安全な歩行空間が確保されておらず  
 景観としても公園的な雰囲気を感じられない要因となっている
- 敷地北側とのネットワーク  
 ○跨線橋との接続部分の設えは歩行者が入りにくく、限定的な利用となっている

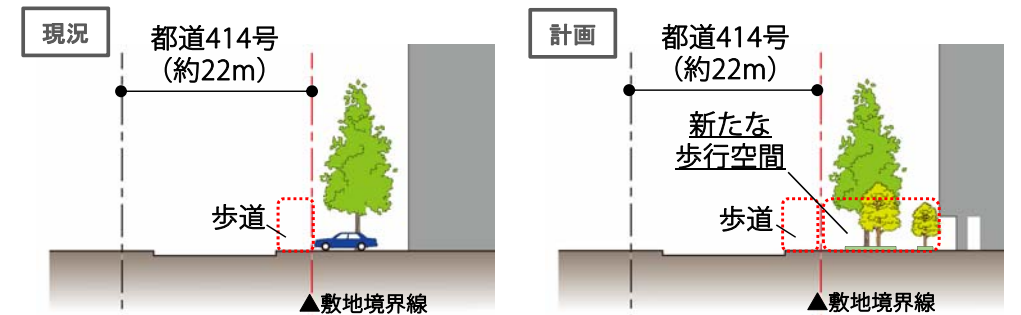


##### 歩行空間整備

**みどりの利活用ゾーン**  
 既存の歩行者空間を活かして北側市街地との連携を担保するとともに、見通しのとれた明るく入りやすい広場を形成



- 計画建物駐車場の集約配置  
 駐車場であった場所を歩行空間として整備することで、横断歩道前の溜り空間を創出し、安全性・快適性に配慮した歩行空間を確保
- 壁面セットバック+緑の配置  
 建物壁面を後退させた部分に植栽を施すことで、歩行者へ与える圧迫感を軽減し、ヒューマンスケールに配慮した歩行者空間を創出



# 6. 景観形成に関する方針

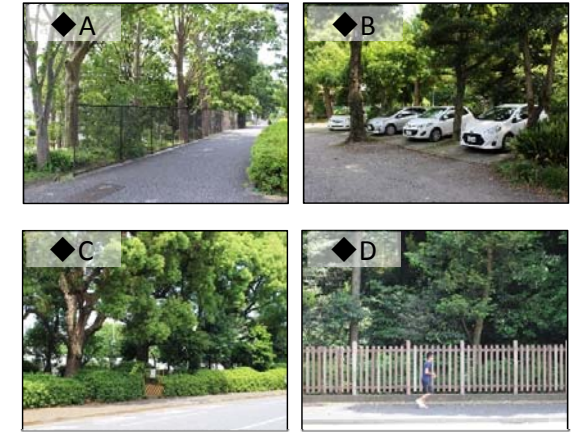
## 中景 | 周辺環境に配慮した交流とみどりの空間整備

みどり

### 方針②：絵画館を囲む緑地と連続するみどり空間の配置

#### 現況

- 計画地周辺のみどり空間は歩道際の柵や低木植栽により人が立ち入る空間となっておらず、みどりを楽しむ快適な憩いスペースが不足している
- 計画区域内の東側敷地は主に駐車場・北側への通過動線としてしか利用されていない
- ホテル計画敷地内の樹木は南側の高木（4本）のみである



人の立ち入りが出来ない周辺のみどり空間

#### 周辺みどりとネットワーク

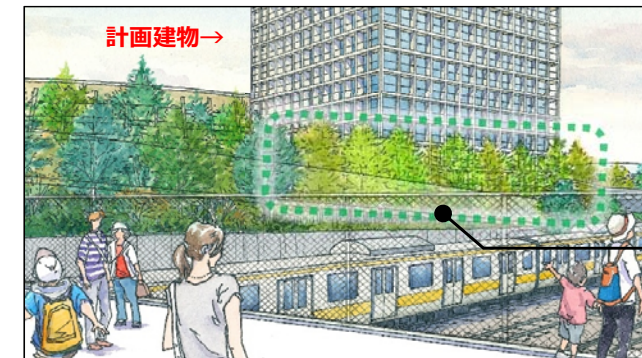


・跨線橋からの見え方



【現況】

- ・計画区域東側（写真左手）は緑地、西側はスポーツ施設となっており、区域内の東西で明確に使われ方が分かれている
- ・敷地境界際にはフットサルコートネットフェンスが配置されている



【将来】

- ・新植する樹木によりみどりの連続が創出され、後ろにひかえる計画建物が落ち着き感をもった佇まいとなる

新たなみどりの連続空間



- ・指定された壁面位置より建物を後退させ、建物前面に植栽を施すことにより、通りに対してみどりが連続する景観を創出する

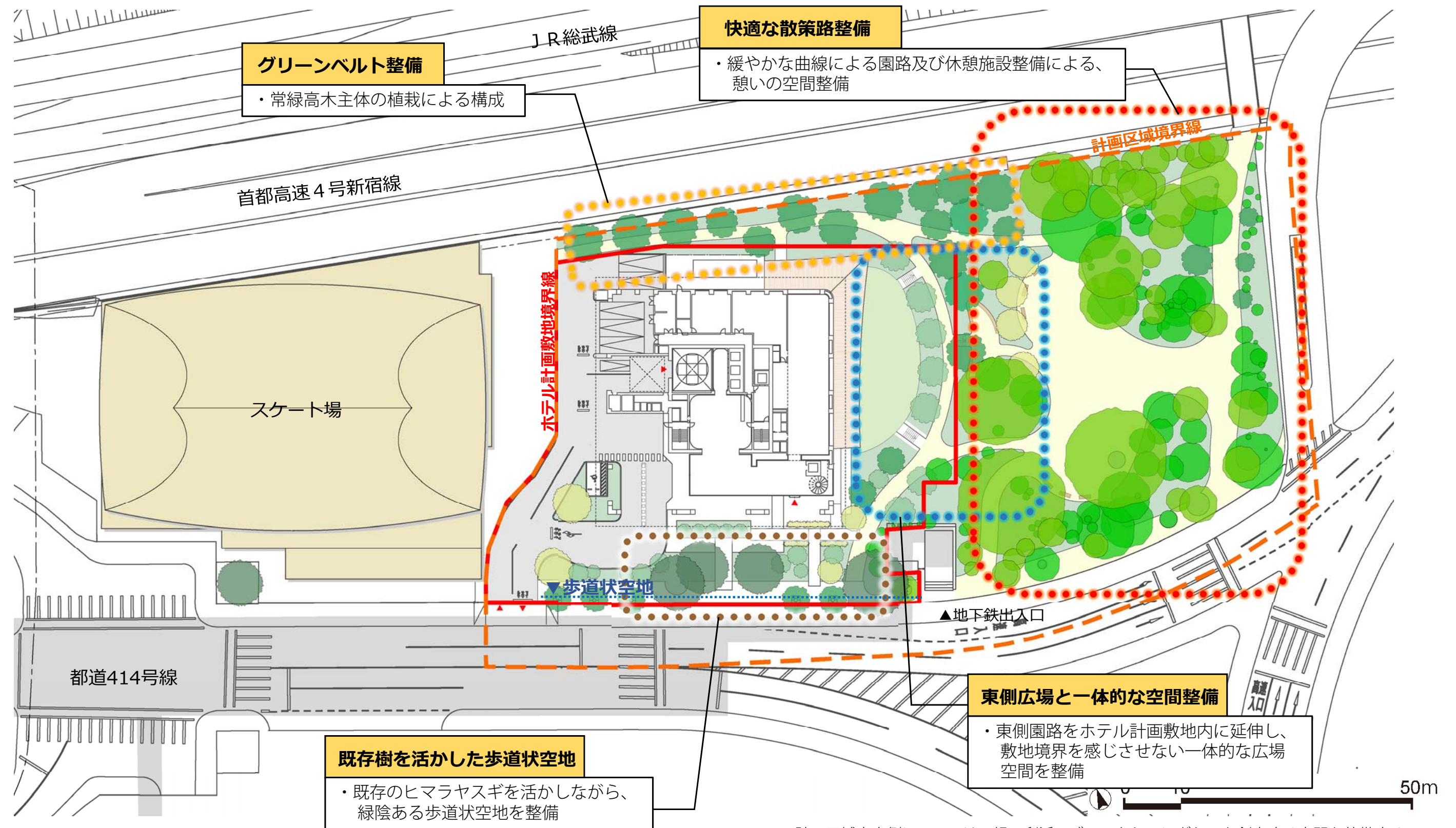
## 6. 景観形成に関する方針

近景 | みどりの利活用を促進する憩い空間の創出

オープンスペース

方針①：計画区域内東側と一体的な憩いの広場整備

整備内容



※計画区域内東側については、緑の利活用ゾーンとしてにぎわいを創出する空間を整備する

## 6. 景観形成に関する方針

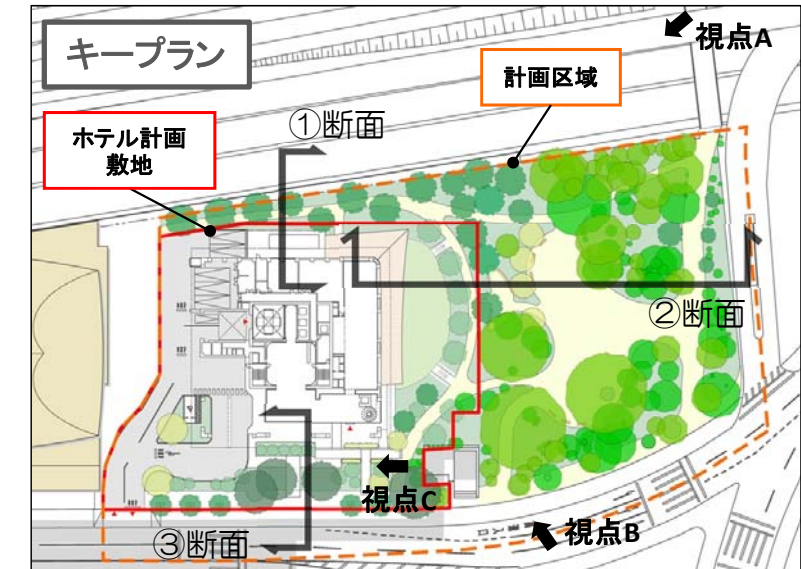
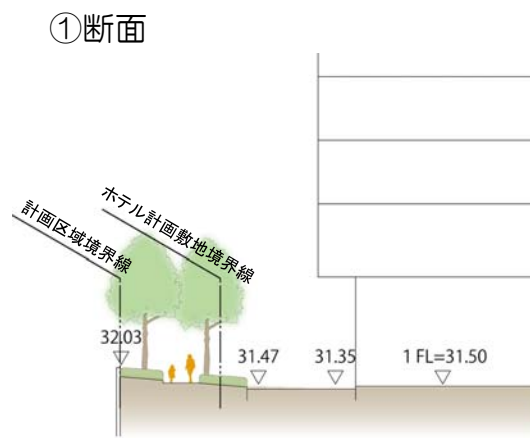
### 近景 | みどりの利活用を促進する憩い空間の創出

オープンスペース

#### 方針①：計画区域内東側と一体的な憩いの広場整備

##### グリーンベルト整備

- 北側の高木植栽により、周囲のみどり空間を連続させる
- 北側市街地からの眺めとして、みどりの奥に建物が見えることで落ち着きある景観を創出する



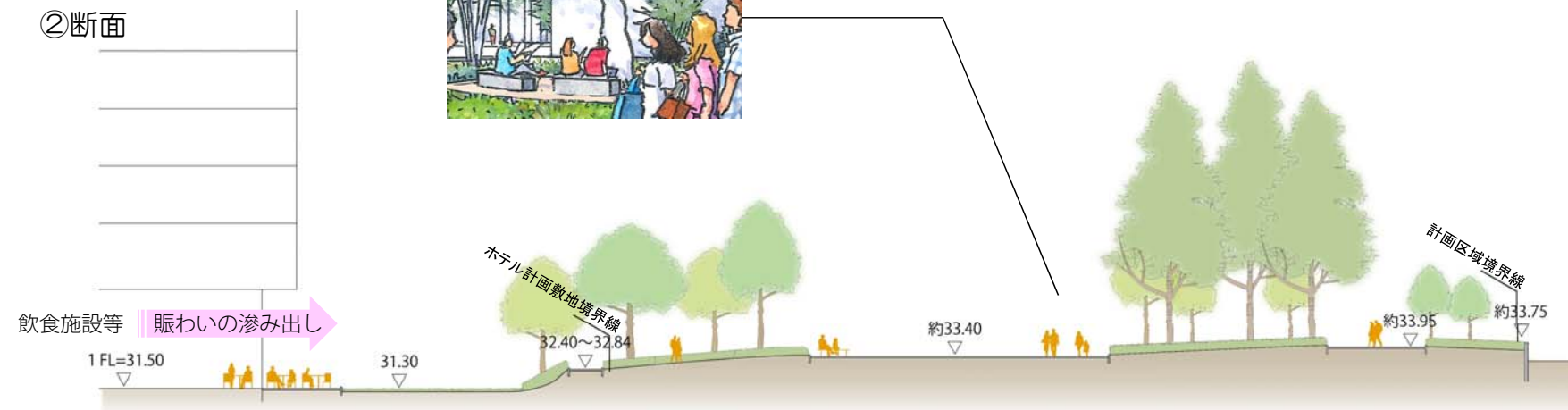
##### 快適な散策路整備・東側広場と一体的な空間整備

- もともとあった園路機能を再整備し、開かれた空間を形成する
- 既存樹木は極力活かし、低木については見通しが確保されるよう整理する
- ベンチなどの休憩施設整備などを検討し、憩いの空間として来街者の利用を促進する



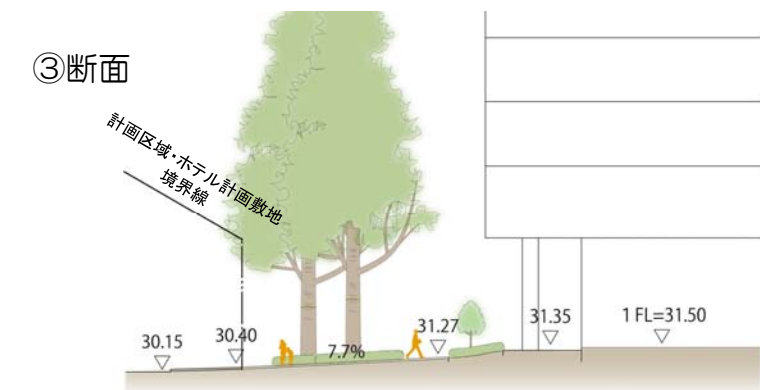
飲食店舗等を広場に面して計画することで、広場に対してみどりと一体になった賑わいの滲み出しを創出する。

休憩施設等イメージ



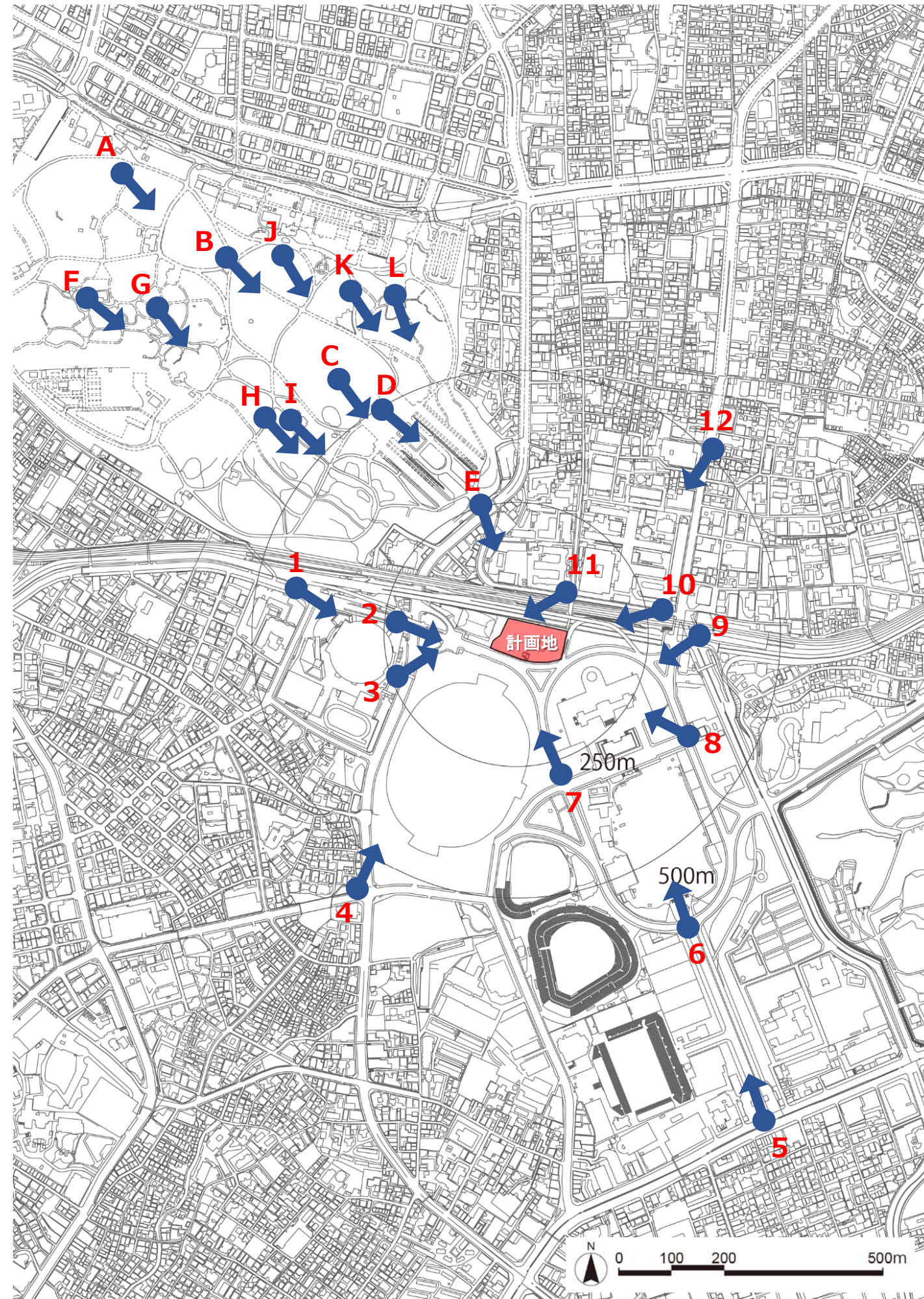
##### 既存樹を活かした歩道状空地

- 既存樹木を活かした、緑陰ある歩行者空間を整備
- 壁面位置を大きく後退することで、みどり空間を確保し外苑内の施設としてみどりと調和するエントランス空間を創出する





# 7. 景観検討ポイント図



※現時点での計画であり、今後関係者との協議及び検討の進捗により変更となる可能性があります。

# 7. 景観検討ポイント図

## 1. 千駄ヶ谷駅出入口前



現状



計画

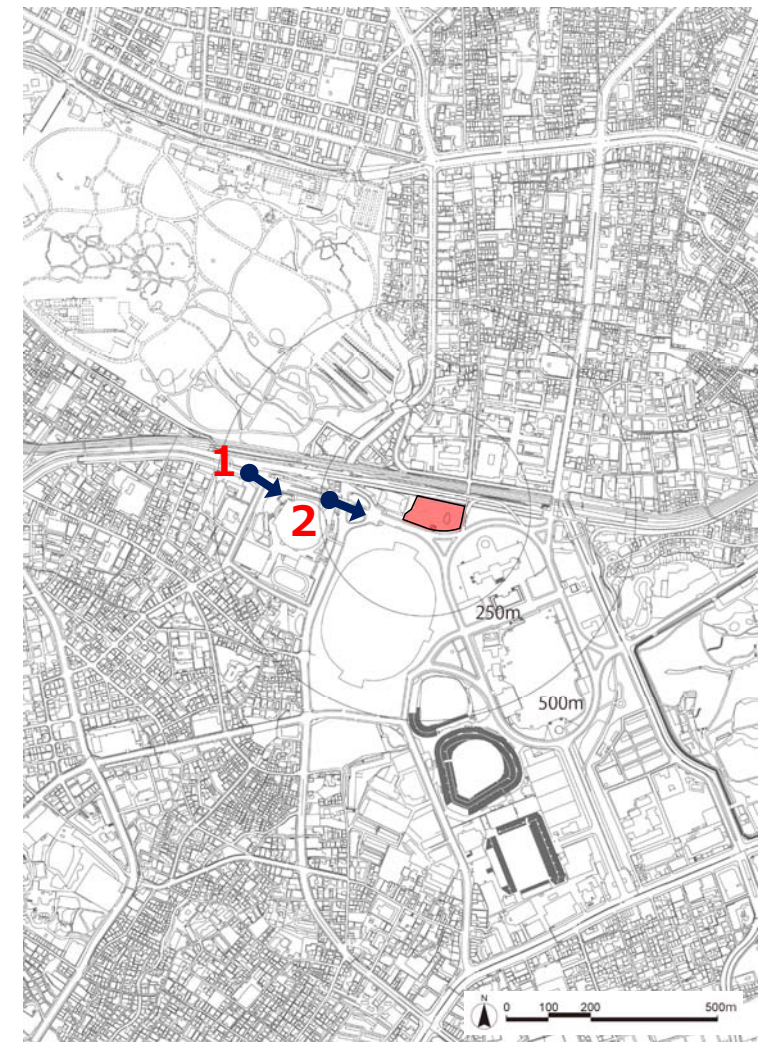
## 2. 東京体育館・北エントランス



現状



計画



# 7. 景観検討ポイント図

## 3. 外苑橋交差点



現状

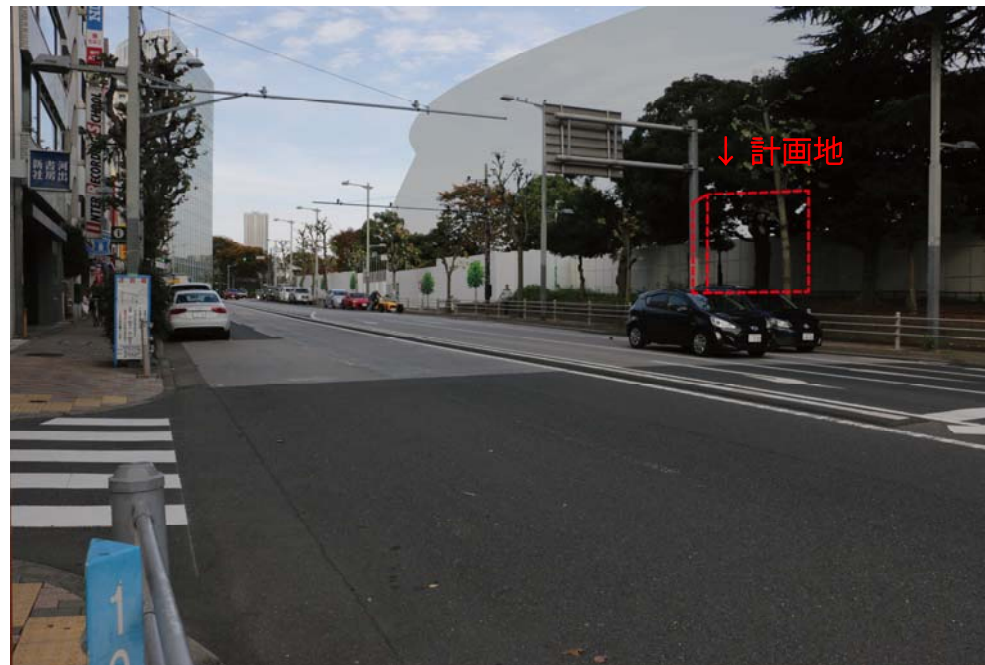


計画

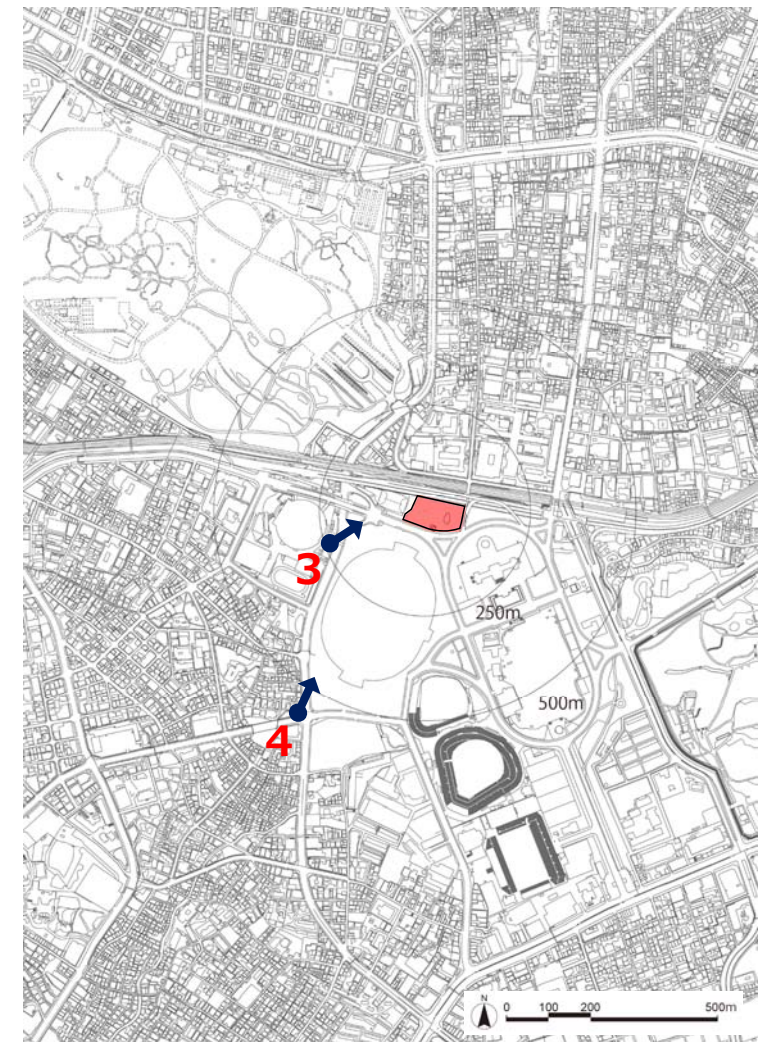
## 4. 仙寿院交差点



現状



計画



## 7. 景観検討ポイント図

### 5. 青山2丁目交差点



現状



計画

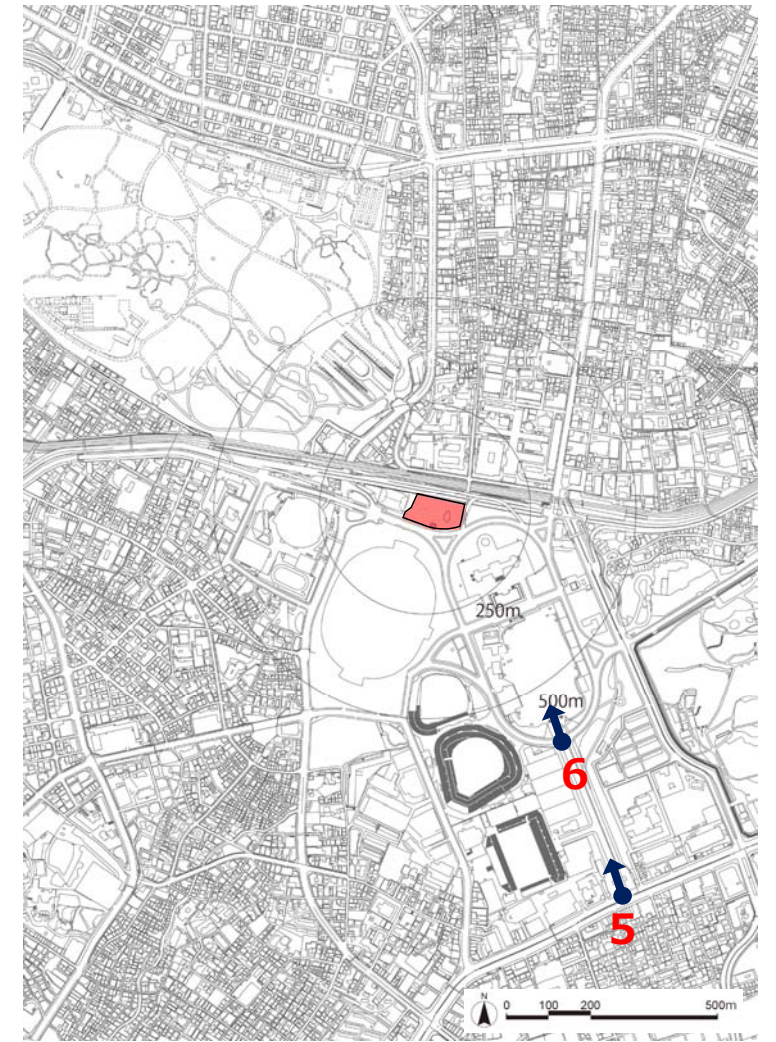
### 6. 外苑地区内交差点(いちょう並木北端)



現状



計画



## 7. 景観検討ポイント図

### 7. 外苑地区内交差点(絵画館西側)



現状



計画

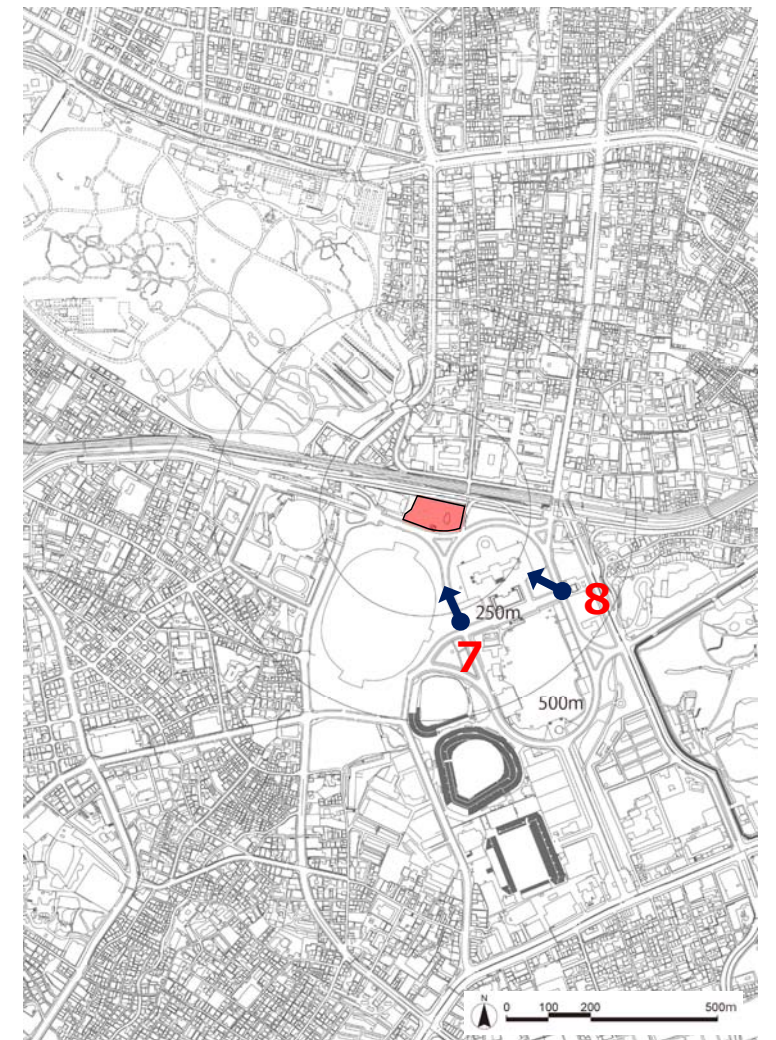
### 8. 外苑地区内交差点(絵画館東側)



現状



計画



## 7. 景観検討ポイント図

### 9. 信濃町駅出入口前



現状



計画

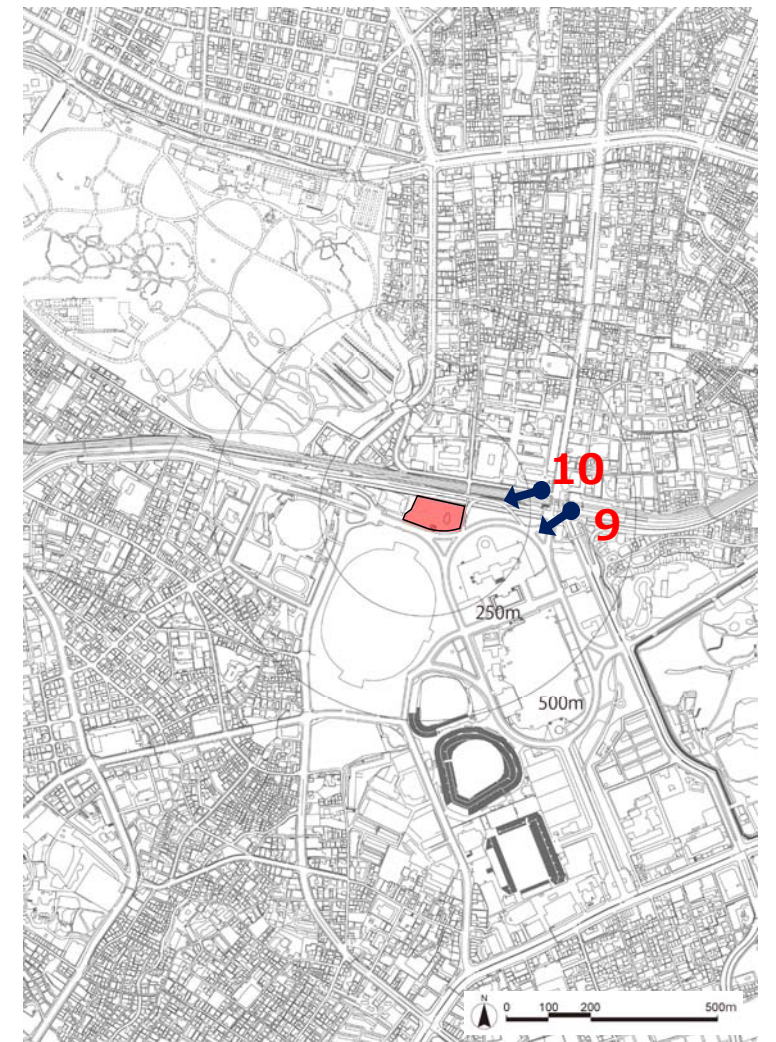
### 10. 信濃町駅前交差点付近



現状



計画



# 7. 景観検討ポイント図

## 11. 無名橋交差点



現状



計画

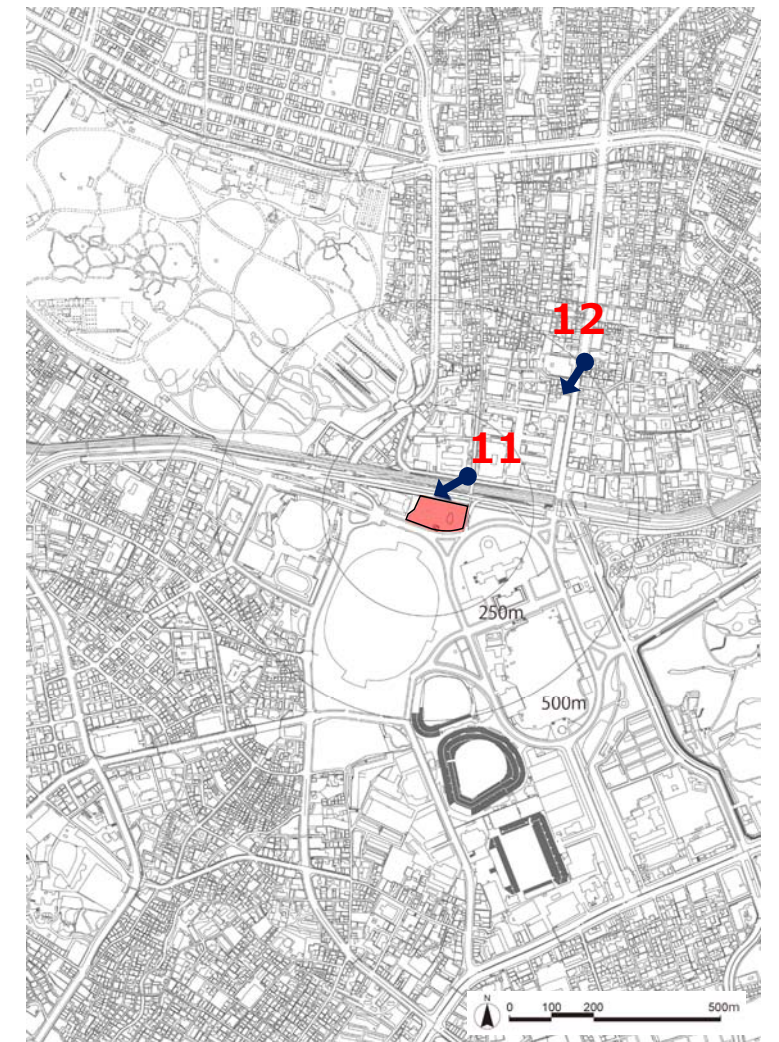
## 12. 外苑東通り



現状



計画



# 7. 景観検討ポイント図

## A. 新宿御苑内



現状



計画

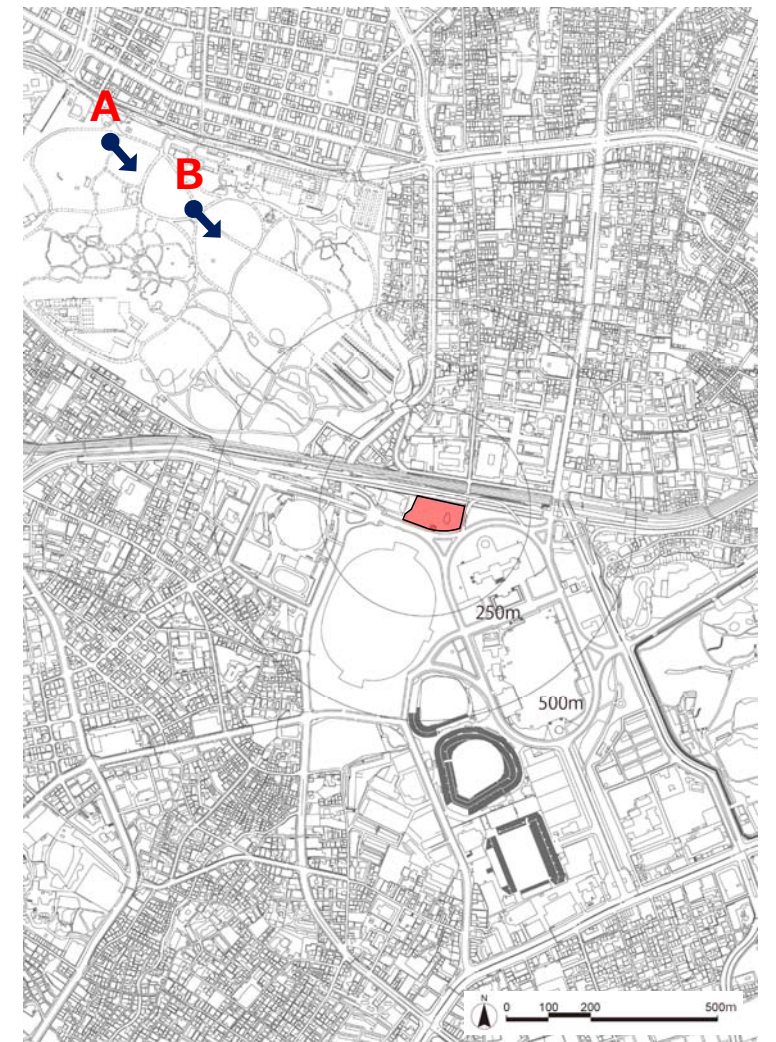
## B. 新宿御苑内



現状



計画



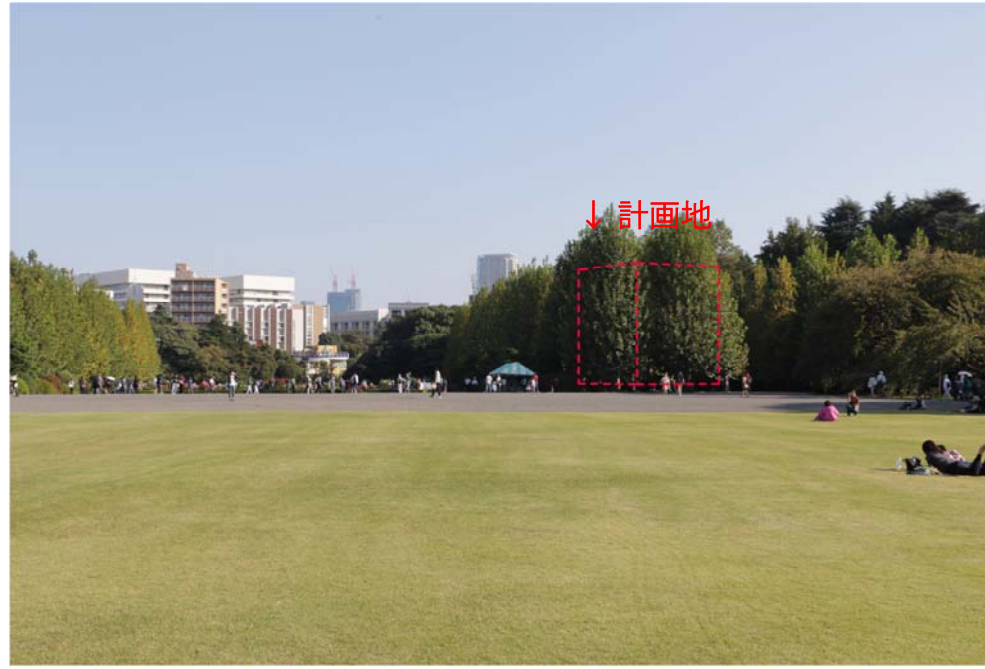


# 7. 景観検討ポイント図

## C. 新宿御苑内



現状



計画

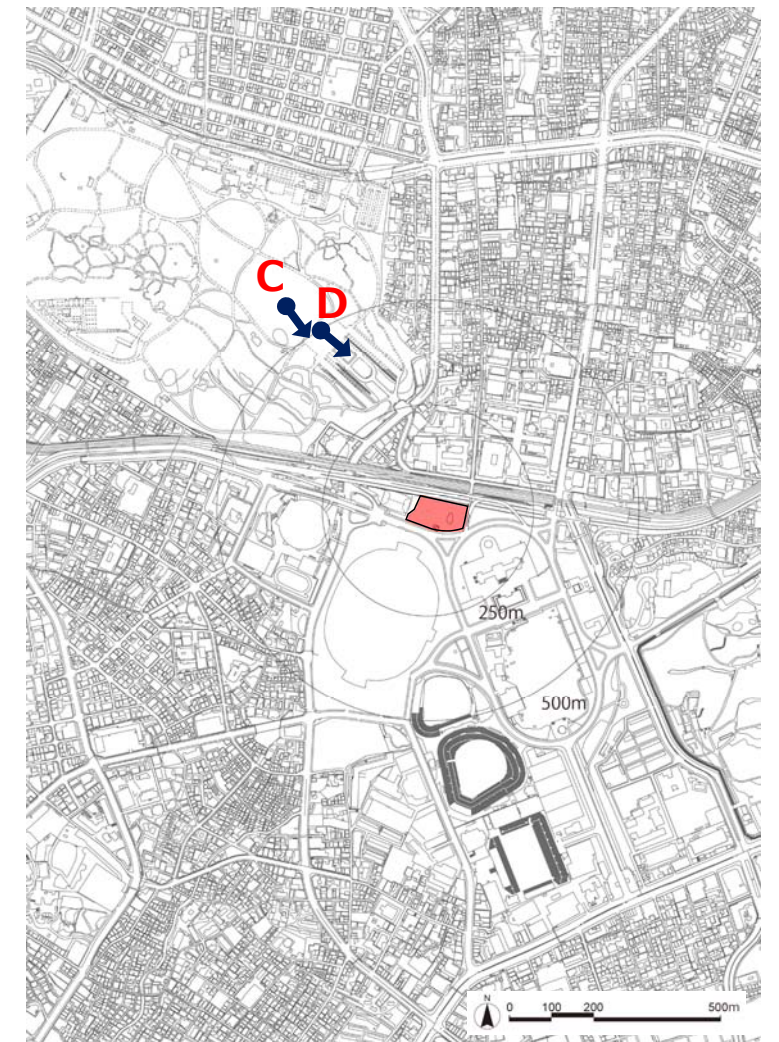
## D. 新宿御苑内



現状



計画



# 7. 景観検討ポイント図

## E. 新宿御苑内



現状



計画

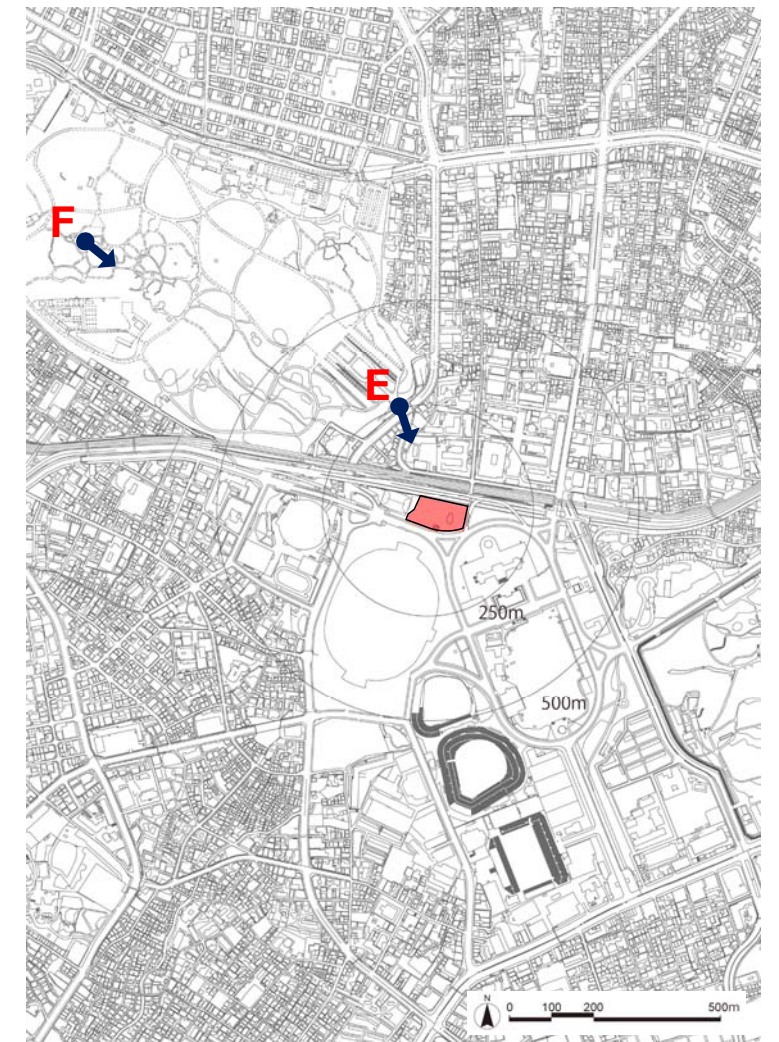
## F. 新宿御苑内



現状



計画



# 7. 景観検討ポイント図

## G. 新宿御苑内



現状



計画

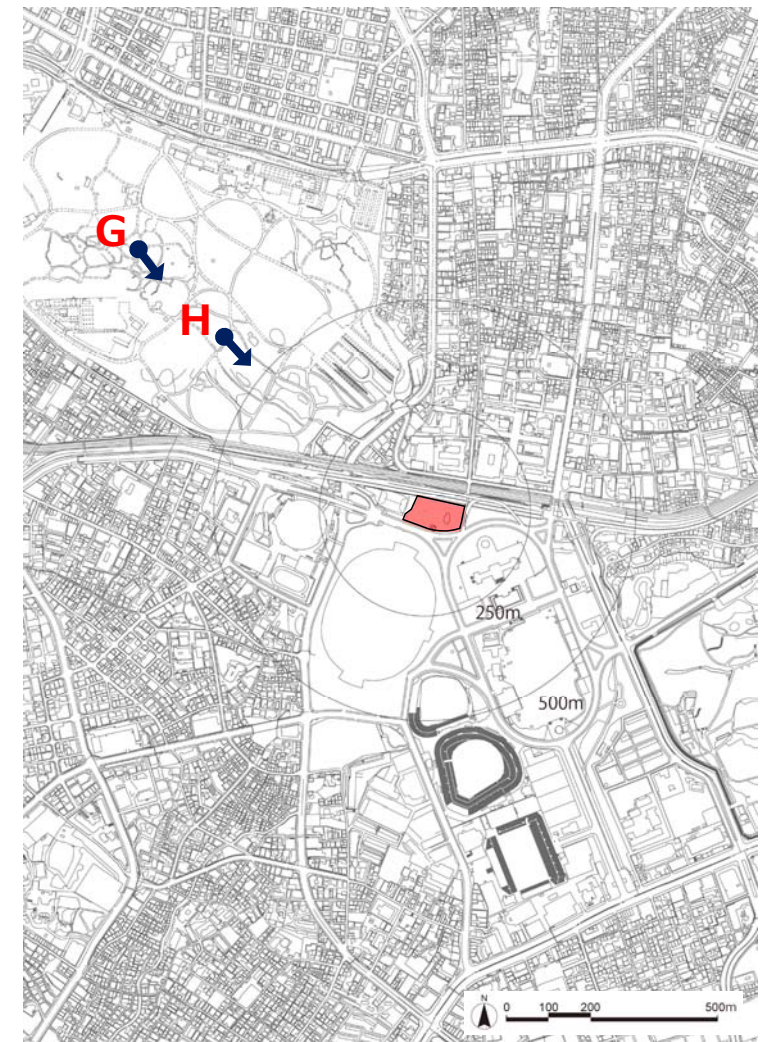
## H. 新宿御苑内



現状



計画



# 7. 景観検討ポイント図

## I. 新宿御苑内



現状



計画

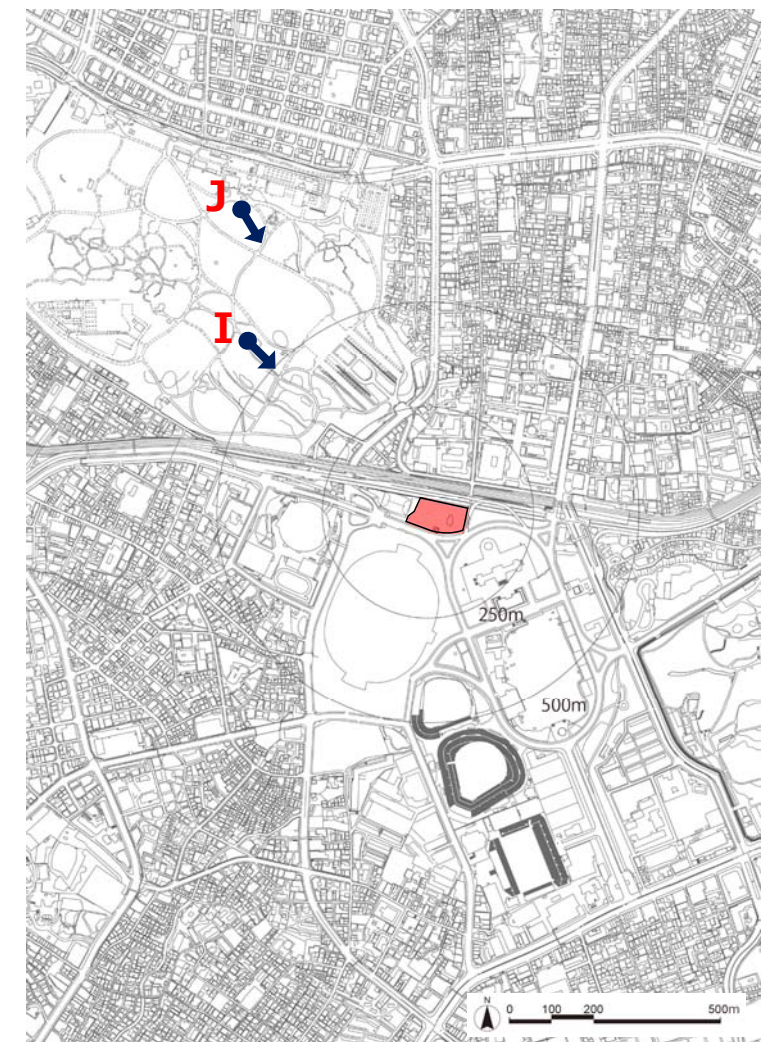
## J. 新宿御苑内



現状



計画



# 7. 景観検討ポイント図

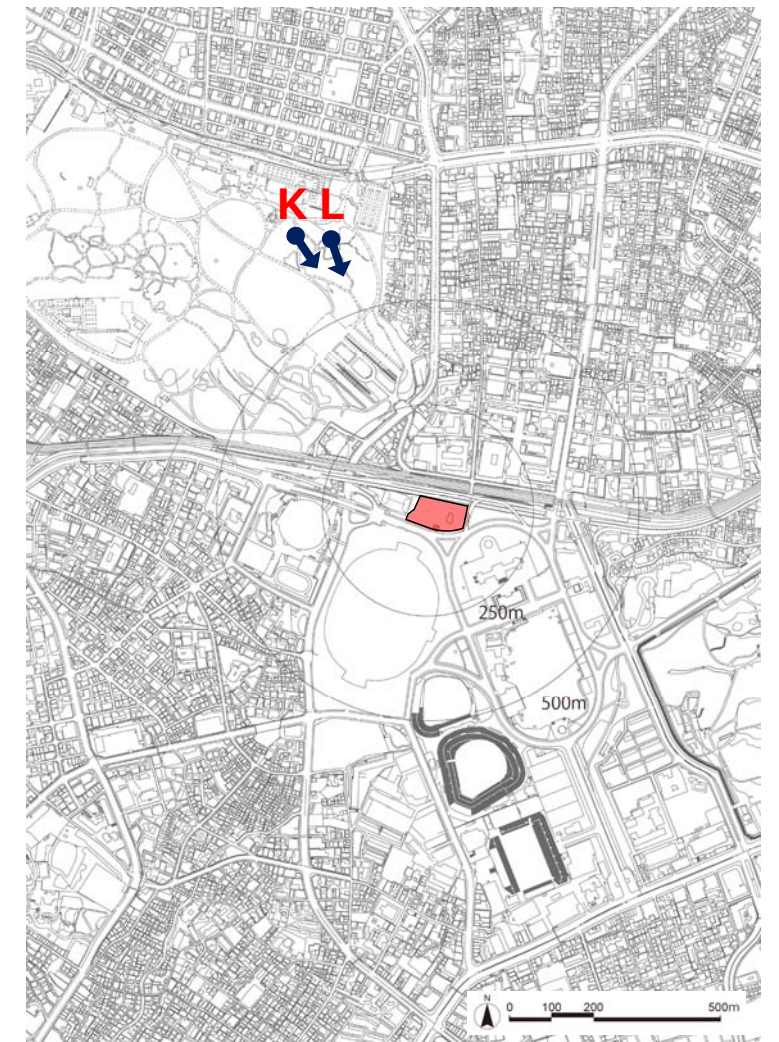
## K. 新宿御苑内



現状



計画



## L. 新宿御苑内



現状



計画